

令和 8 年度

要 覧



鹿児島県立博物館

登録博物館証書

令和6年5月



館 旗



制 定 日	昭和57年7月2日
モチーフ	「鹿児島県自然」 「内側の赤い円」…………… 太陽と火山 「大きな青緑の円」…………… 黒潮と緑の大地 「白い鳥」…………… 生物 豊かな自然の中で、大きな翼をもち、ひらけゆく 未来に向かってはばたく博物館を象徴する。
デザイン	鹿児島県立川内商工高等学校(昭和57年当時) 教諭 滝 下 隼 人

【表表紙写真】「当館プラネタリウム投影機 CX-AT」

目次

1 鹿児島県立博物館のあゆみ	1
(1) 沿革	1
(2) 歴代館長	2
2 施設・設備の概要	3
(1) 館内配置	3
(2) 施設・設備	4
(3) 施設用途別面積	4
3 令和8年度県立博物館運営方針と努力点	5
(1) 運営方針	5
(2) 努力点	5
4 組織及び職員	6
(1) 組織	6
(2) 職員	6
5 令和8年度県立博物館事業体系表	7
6 博物館事業	8
(1) 資料の収集・保管	8
(2) 展示	10
(3) 調査研究	15
(4) 教育普及	16
7 令和8年度年間行事予定表	21
8 令和7年度主要事業等	24
(1) 資料の収集・保管	25
(2) 展示	25
(3) 調査研究	25
(4) 教育普及	26
(5) 博物館利用状況	30
9 博物館利用の案内	31
(1) 入館の手順	31
(2) 見学に要する時間と収容人員	31
(3) 団体見学の申込	31
(4) 博物館の場所と交通手段	32
(5) その他	32

1 鹿児島県立博物館のあゆみ

(1) 沿革

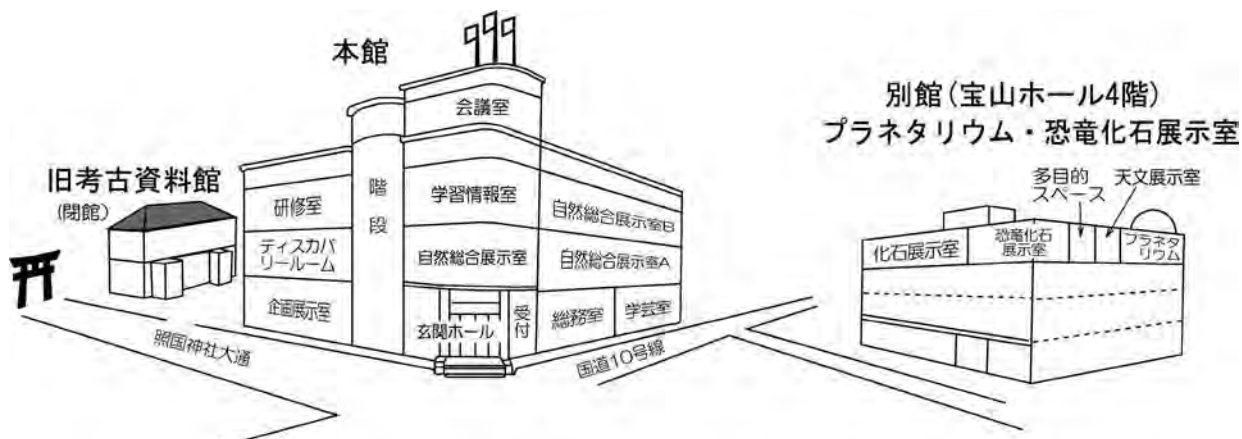
明治16年9月	旧考古資料館の建物（旧県立興業館）竣工落成	旧考古資料館時代
大正3年4月	大正3年1月の桜島噴火関係資料保存展示のため、県立図書館内に博物部常任委員会を発足	
4年8月	県立図書館内に郷土博物室を設置、動植物・考古・民俗等の自然や人文関係の資料収集開始	
昭和2年10月	現博物館本館の建物（旧県立図書館）竣工落成	
26年11月	昭和20年戦災焼失した県商工奨励館を博物館として再建（工事費250万円）	
昭和28年3月	再建した建物に資料を移し、鹿児島県立博物館として発足 鹿児島県立博物館設置条例制定	
38年6月	「ウシウマの骨格」が県指定天然記念物に指定（17日）	
50年1月	考古・民俗等の人文資料を明治百年記念館調査室に移し、「鹿児島の自然」をテーマに統一し、館内資料を整理	
54年7月	新博物館構想策定委員会発足（5日）	
55年4月	鹿児島県立博物館組織規則改正、専任館長任命	
11月	旧県立図書館を新博物館として改装工事完了（15日）	県文化センター・科学館時代
12月	新博物館展示工事完了（25日）	
昭和38年7月	県文化センター調査事務局設置（24日）	
39年2月	基本構想（文化会館と科学館との併設）が知事に答申	
40年1月	小川勇吉氏より、恐竜化石（2体）、アンモナイト、三葉虫、その他の化石434点が、鹿児島県に寄贈（29日）	
41年11月	県文化センター開館（15日） プラネタリウム室、恐竜化石展示室、理工系展示室、実験室を備えた科学館を県文化センター内に開設	
55年3月	プラネタリウム投影機更新（30日）	新館時代
56年1月	プラネタリウム室、恐竜化石展示室は現状のまま県立博物館に引き継がれ、実験機器、理工系展示資料は、現県立博物館本館に移管される。	
旧県立図書館が新博物館に改装されたに伴い、旧博物館の建物は考古資料館として整備され、県文化センター科学館の展示資料は新博物館3階の理工系展示場に移管・展示された。また、プラネタリウム・恐竜化石展示室は、そのままの状態で新博物館に引き継がれ現在に至っている。		
昭和56年1月	鹿児島県立博物館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定（1日） 鹿児島県立博物館協議会条例制定（1日） 鹿児島県立博物館新館開館式挙行（12日）、博物館としての登録（12日） 鹿児島県教育委員会の行政組織等に関する規則の一部を改正する規則制定 附属機関設置（鹿児島県立博物館協議会）	
3月	館旗制定（モチーフ「鹿児島の自然」、デザイン「滝下隼人氏」）（2日）	
57年7月	プラネタリウム室使用料の減免措置実施（12日）	
58年6月	皇太子殿下、皇太子妃殿下博物館行啓訪問、本館御見学（28日）	
7月	「路傍300種に親しむ運動」開始（3か年計画）	
59年4月	「身近に親しむサイエンス」推進事業開始（3か年計画）	
60年4月	昭和56年からの入館者100万人達成（11日）	
61年5月	「みんなで創る博物館」推進事業開始	
62年4月	鹿児島国際火山会議特別展「火山とくらし」開催（14～24日）	
7月	理工系展示室閉鎖、自然史応用部門展示室として改装工事始まる	
平成2年9月	展示場改装及びボリビア産化石展開場式挙行（15日）	
3年2月	収蔵資料目録作成事業開始（3か年計画）	
4月	自然のつながりリサーチ事業開始（5か年計画）	
4年5月	鹿児島の自然調査事業開始（5か年計画）	
5年4月	学習情報室開設	
7月	昭和56年からの入館者200万人達成（9日） 博物館連携協力事業（国立科学博物館共催）「博物館地域科学活動指導者セミナー」（13～14日）	
11月	考古資料館 内装及び外庭整備	
6年2月	創設40周年記念特別企画展「鹿児島と世界の大昆虫展」	
8月	自然へのアプローチ普及活動事業～博物館がやってきた～開始	
7年4月	本館2階常設展示及びエントランスホール整備事業開始	
7年4月	本館外壁工事完了	
8年4月	本館2階展示場改装開場式挙行（19日）	
9年3月	親と子の自然観察ゼミナール事業開始（5か年計画）	
3月	博物館自然資料整備事業開始（3か年計画）	
4月	考古資料館登録有形文化財に登録（11日、第1号）	
10年4月	本館2階屋久島ジオラマ修復工事完了	
12月	プラネタリウム椅子取り替え工事完了	
11年10月	文部省 科学系博物館活用ネットワーク推進事業開始（2か年計画）	
12月	触れ見る知る自然資料収集整備事業開始（5か年計画）	
12年8月	昭和56年からの入館者300万人達成（10日）	
13年4月	「自然に飛び出せ／子ども学芸員」育成事業開始（5か年計画）	
13年4月	考古資料館閉館（5日）	
14年1月		
4月		
11月		

15年 7月	本館耐震補強及び収蔵庫改築工事着工 (本館は7月1日より休館、県立図書館3階に仮事務所設置)	新 館 時 代
16年 7月	本館耐震補強及び収蔵庫改築工事完了(本館は8月1日より開館)	
18年 3月	旧収蔵庫解体工事完了	
4月	郷土の豊かな自然遺産資料収集整備事業開始(5か年計画) 特別整理休館日を設置(常設展示リニューアル開始)	
19年 6月	フィールドワーカー養成講座(科学技術振興機構助成)開始	
20年 3月	身体障害者用駐車場が完成	
4月	博物館本館登録有形文化財に登録(18日、第65号)	
4月	旧考古資料館前ソテツ「世界ではじめて精子が発見されたソテツ」として県指定天然記念物に指定(22日)	
21年 5月	第1回「博物館まつり」開催(24日)	
22年 5月	S P P事業「屋久島の自然から学ぼう」実施(15日:以後12月まで全6回)	
23年 4月	豊かな鹿児島県の自然遺産収集保存事業開始(5か年計画)	
8月	立体映像(3D)投影装置リニューアル(12日)	
24年 2月	エレベーター更新(28日)	
3月	昭和56年からの入館者400万人達成(24日) 恐竜化石リニューアル・音声ガイド導入(30日)	
25年 6月	「桜島大正大噴火写真展」(~平成26年1月) 桜島大正噴火100周年記念 特別企画展「桜島火山100年の軌跡」(~9月)	
27年 3月	収蔵資料データベース公開(10日)	
4月	「薩摩隕石」が県指定天然記念物に指定(17日)	
28年 4月	人と共に生きる鹿児島の自然遺産収集保存事業開始(5か年計画) 収蔵資料の「スレッドレーススコリア」が県指定天然記念物に指定(19日)	
11月	別館設立50周年に伴う天文展示室リニューアル	
29年 1月	スマートフォンでの展示解説サービス開始(11日)	
30年 4月	本館3階自然総合展示室Bリニューアルオープン(27日)	
5月	公式Facebookを運用開始	
31年 1月	公式Twitter、公式Instagramを運用開始	
令和2年 4月	県立錦江湾高等学校との課題研究等協力(以下SSH事業)についての協定契約を締結	
12月	昭和56年からの入館者500万人達成(13日)	
3年 4月	多様性豊かな鹿児島の自然遺産収集保存事業開始(5か年計画)	
4年 3月	外壁改修工事完了(14日) 「大隅石(オオスミライト)標本」が県指定天然記念物に指定(23日)	
5年 3月	自然総合展示室A一部リニューアルオープン(1日)	
5月	県立甲南高等学校とのSSH事業についての協定契約を締結	
9月	城山観光株式会社と連携協定を締結	
10月	県立鹿児島中央高等学校とのSSH事業についての協定契約を締結	
令和6年 5月	博物館登録原簿に登録(鹿児島県第1号)(7日)	
7月	博物館法改正後の登録博物館として再登録(12日)	

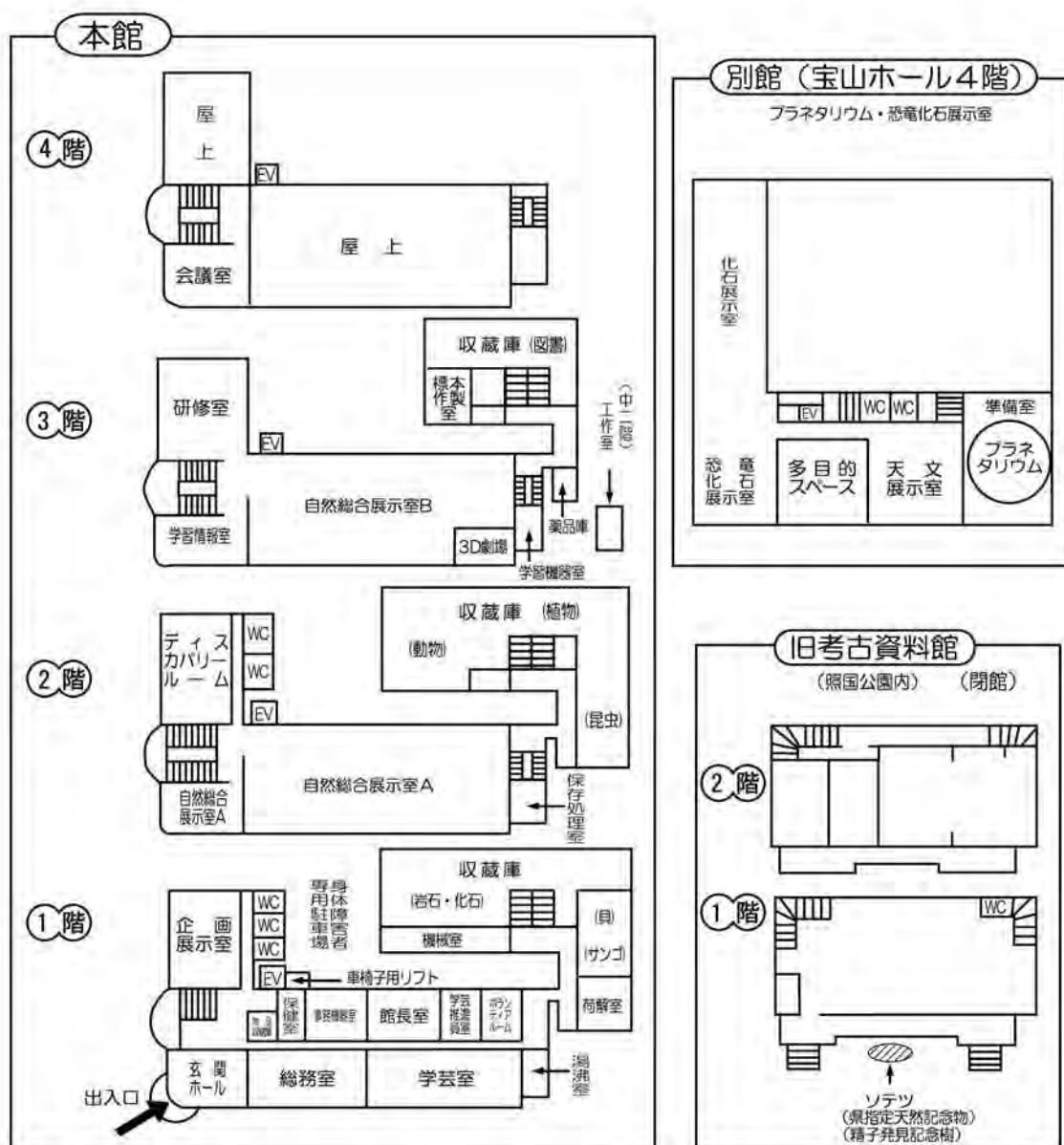
(2) 歴 代 館 長

代	館 長 名	在 任 期 間	代	館 長 名	在 任 期 間
初	久保田 彦穂	昭和28年3月 ~ 昭和41年3月	18	原 田 正 美	平成15年4月 ~ 平成16年11月
2	山 下 巖	" 41年4月 ~ " 45年3月	19	鷺 東 重 明	" 16年11月 ~ " 17年3月
3	寺 師 次 夫	" 45年4月 ~ " 47年8月	20	椎 原 和 郎	" 17年4月 ~ " 19年3月
4	犀 川 碓 吉	" 47年8月 ~ " 50年3月	21	黒 江 修 一	" 19年4月 ~ " 22年3月
5	宇 都 哲	" 50年4月 ~ " 51年3月	22	山 下 和 則	" 22年4月 ~ " 24年3月
6	嶋 元 牧 雄	" 51年4月 ~ " 53年3月	23	水 流 芳 則	" 24年4月 ~ " 27年3月
7	谷 崎 哲 夫	" 53年4月 ~ " 54年3月	24	川 原 裕 明	" 27年4月 ~ " 29年3月
8	山 下 典 夫	" 54年4月 ~ " 55年3月	25	中 間 弘	" 29年4月 ~ " 30年3月
9	前 村 義 巳	" 55年4月 ~ " 58年3月	26	福 永 広 隆	" 30年4月 ~ " 31年3月
10	桑 原 一 廣	" 58年4月 ~ " 59年3月	27	鈴 木 敏 之	" 31年4月 ~ 令和4年3月
11	北 原 昭 男	" 59年4月 ~ 平成元年3月	28	山田島 崇文	令和4年4月 ~ " 7年3月
12	福 田 晴 夫	平成元年4月 ~ " 4年3月	29	内 祥 一 郎	" 7年4月 ~
13	立園 多賀夫	" 4年4月 ~ " 6年3月			
14	田 尻 昌 也	" 6年4月 ~ " 8年3月			
15	井手口 龍哉	" 8年4月 ~ " 10年3月			
16	永 喜 久 一	" 10年4月 ~ " 13年3月			
17	畑 田 健 治	" 13年4月 ~ " 15年3月			

2 施設・設備の概要



(1) 館内配置図



(2) 施設・設備

本 館（登録有形文化財 第46-0065号）

区 分	面積(㎡)	主 な 内 容
1 階	676.61	企画展示室、館長室、総務室、 学芸推進員室、学芸室、 ボランティアルーム
2 階	652.68	自然総合展示室A、 ディスカバリールーム、 保存処理室
3 階	629.72	自然総合展示室B、研修室、学 習情報室、3D劇場、 学習機器室
4 階	119.55	会議室
その他	42.60	エレベーター室
延床面積	2,919.70	
建築面積	1,007.96	
敷地面積	1,856.13	

全 館 (㎡)

延床面積	4,764.82
建築面積	1,345.44
敷地面積	2,400.03

プラネタリウム・恐竜化石展示室

区 分	面積(㎡)	主 な 内 容
プラネタリウム	190.04	星座投影室、準備室
天文展示室	85.80	天文資料展示室
化石展示室	454.55	恐竜、アンモナイト、 三葉虫など
バルコニー	152.40	
そ の 他	287.36	廊下など
延床面積	1,170.15	

旧考古資料館（登録有形文化財 第46-0001号）

区 分	面積(㎡)
1 階	337.48
2 階	337.49
延床面積	674.97
建築面積	337.48
敷地面積	543.90

(3) 施設用途別面積（旧考古資料館を除く）

(㎡)

区分	室 名	展示面積	教育普及面積	保管面積	研究面積	管理・その他	計
本 館	館 長 室					30.60	30.60
	学 芸 指 導 員 室					20.40	20.40
	総 務 室					62.40	62.40
	学 芸 室				78.00		78.00
	ボランティアルーム				25.50		25.50
	事 務 機 器 室					30.60	30.60
	企 画 展 示 室	87.12					87.12
	2階自然総合展示室A	424.02					424.02
	ディスカバリールーム	101.08					101.08
	保 存 処 理 室				20.25		20.25
	3階自然総合展示室B	353.70					353.70
	研 修 室		120.12				120.12
	学 習 情 報 室		70.32				70.32
	学 習 機 器 室				14.18		14.18
	収 蔵 庫 (1 ～ 3)			798.54			798.54
	会 議 室					68.76	68.76
	階 段 ・ 廊 下 等					614.11	614.11
	計	965.92	190.44	798.54	137.93	826.87	2,919.70
プ ラ ネ タ リ ウ ム	プラネタリウム・恐竜化石展示室	639.39	91.00				730.39
	準 備 室 等			10.24	24.29	405.23	439.76
	計	639.39	91.00	10.24	24.29	405.23	1,170.15
合 計		1,605.31	281.44	808.78	162.22	1,232.10	4,089.85
全 面 積 に 占 め る 割 合		39%	7%	20%	4%	30%	100%

3 令和8年度県立博物館運営方針と努力点

(1) 運 営 方 針

本県教育振興基本計画の基本目標「夢や希望を実現しともに未来を創る鹿児島の人づくり」の実現に向け、博物館法第1条(目的)に基づき、教育・学術・文化の発展に寄与することを目指す。

そのため、博物館の基本的な4つの活動である「資料を集めて守り(収集・保管)」、「その価値を明らかにし(調査研究)」、「展示を通して伝え(展示)」、「学びへと広げる(教育普及)」という一連の流れを総合的に推進し、県民が学び、文化活動を通じて社会的・地域的課題と向き合うための基盤づくりを進める。

さらに、来館者や利用者、職員が幸せや生きがいを感じられる「ウェルビーイング」を共に追究できる場となることを目指す。その実現に向けて、学びや業務等の実践を通じて生まれる感動や満足を共有し合い、誰もが主体的に関わることのできる開かれた博物館としての機能を高めていく。

(2) 努 力 点

博物館法に基づき、地域の多様な主体と連携しながら、基本的な4つの活動に沿った取り組みを推進し、登録博物館としての役割を強化する。

ア 資料の収集・保管

郷土の自然資料を計画的・継続的に収集し、整理・保管する。

また、収蔵資料データベースの公開を進め、電磁的記録の活用により資料の有効利用と学術の発展に寄与する。

イ 調査研究

郷土の自然資料について専門的な調査研究を行い、その成果を県内外へ発信する。

あわせて、教育・学術振興の基盤として、報告書等の作成・頒布に努める。

ウ 展示

常設展示を定期的に改善し、企画展・プラネタリウム・館外での移動展示を積極的に展開する。

さらに、県民の多様なニーズに応じた展示を通じ、郷土への理解と愛着を育む。

エ 教育普及と組織連携

社会教育・学校教育の双方に関与し、「社会に開かれた教育課程」の実現に貢献する。

(ア) 学校教育と教職員研修

児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を支える体験活動や出前授業を実施する。

また、教職員にとって参加しやすい研修を設定し、教材開発や指導法等を支援する。

(イ) 多様な組織との連携

他の博物館や学校、教育機関等と連携を深める。

さらに、地域学校協働活動を推進し、地域全体で子供を育てる環境づくりを支える。

(ウ) 職員のウェルビーイング

職員一人一人が自らの資質向上に努め、調査研究や研修、その他の業務を通じて自己実現を図る。

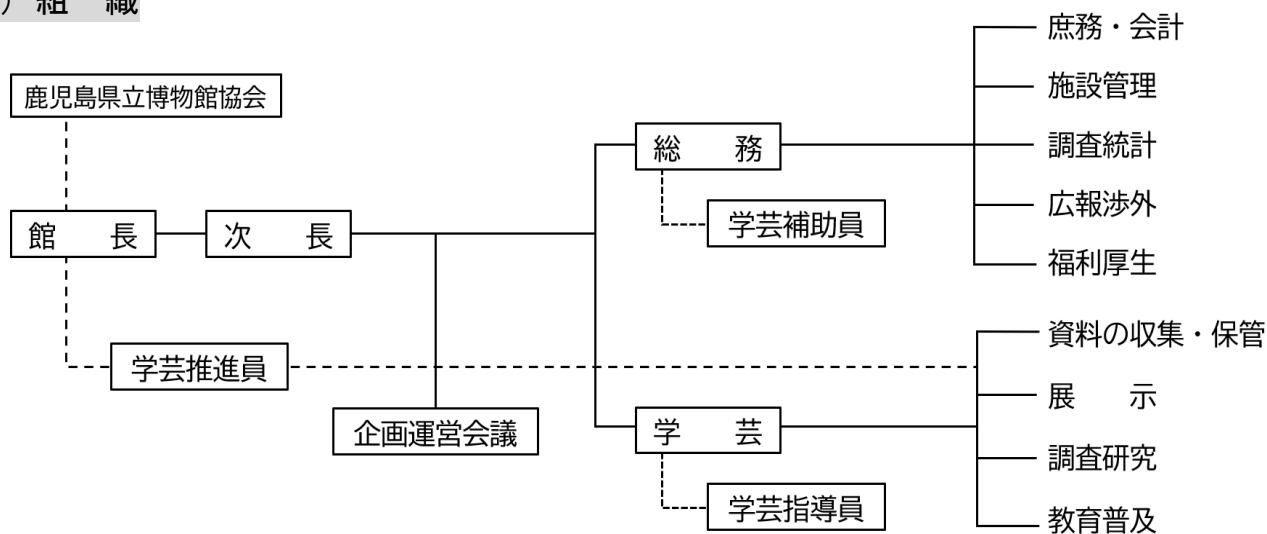
また、心理的安全性の高い職場環境の実現に努め、利用者や地域との信頼関係を築き、質の高いサービスを提供できるよう取り組む。



博物館教養講座

4 組織及び職員

(1) 組織



(2) 職員

ア 職員数

常勤職員							非常勤職員				合計
館長	次長	専門員	主査	主任学芸主事	学芸主事	計	学芸推進員	学芸指導員	学芸補助員	計	
1	1	1	1	1	5	10	1	8	3	12	22

イ 職員一覧

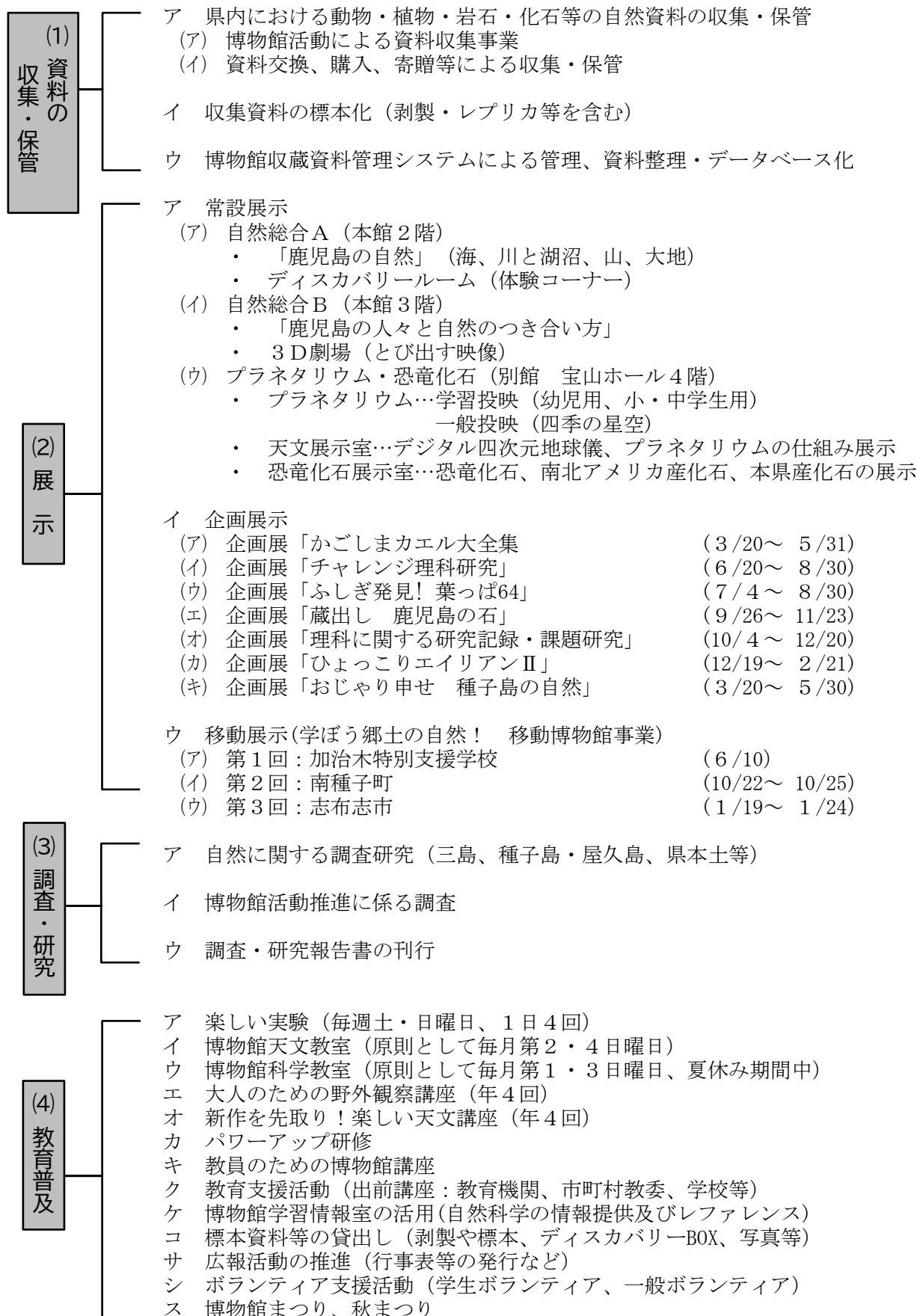
〈常勤職員一覧〉

職名	氏名	担当
館長	内 祥一郎	館務総括
次長	富吉 ひとみ	館長補佐
専門員	向井 祥平	庶務会計
主査	小村 光平	〃
主任学芸主事	上舞 哲也	学芸総括
学芸主事	中峯 浩司	無脊椎動物
〃	若松 斉昭	地 質
〃	渡 邊 剛	脊 椎 動 物
〃	金本 直子	植 物
〃	片野田 裕亮	天 文

〈非常勤職員一覧〉

職名	氏名	担当
学芸推進員	山下 和則	博物館振興
学芸指導員	上 田 聰	自然史全般
〃	鈴木 敏之	〃
〃	上舞 友子	〃
〃	深谷 文香	〃
〃	清水 麻南	〃
〃	前 野 萌	〃
〃	八 木 沙 悠	〃
〃	熊元 尋音	〃
学芸補助員	川畑 千代子	庶務全般
〃	摺木 みつ子	〃
〃	計屋 朱美	〃

5 令和8年度県立博物館事業体系表



6 博物館事業

「博物館法」及び「鹿児島県立博物館の設置及び管理に関する条例」に規定する博物館設置の目的を達成するため、博物館活動の基本である「資料の収集・保管」・「展示」・「調査研究」・「教育普及」の各事業を実施する。

事項名	博物館活動事業概要
資料の収集・保管	資料の収集(採集、購入、寄贈等)、資料の整理・保管、データベース作成
展 示	常設展示の更新補充、企画展、移動展示の実施
調 査 研 究	自然に関する調査・研究、研究報告書刊行、配布
教 育 普 及	プラネタリウム、天文教室、楽しい天文講座、楽しい実験、科学教室、学習支援、レファレンス対応

(1) 資料の収集・保管

ア 目的

鹿児島県内の自然資料を中心に、必要に応じて県外・外国産も加え、年次計画のもとに収集・保管して調査研究、展示活動、教育普及活動等への活用を図る。

イ 事業内容

- ・ 県本土及び島嶼部の自然資料を収集し、標本化して保存する。生態写真等の二次資料の収集も計画的に行う。
- ・ 今後の移動博物館事業をふまえ、予定地域の自然資料収集に努める。
- ・ 収蔵資料の整理と保管及びデータベース化の充実に努める。

ウ 資料収集地域（令和8年度）

県本土の資料収集重点地域	大隅（曽於を除く）
島嶼部の資料収集地域	三島（竹島・硫黄島・黒島）、熊毛（種子島・屋久島）

【参考】次年度以降の資料収集予定地域

事業年度	本土の資料収集重点地域	島嶼部の資料収集地域
令和9年度	北薩地区・伊佐	三島・十島
令和10年度	始良・霧島・湧水・曽於	十島・奄美高島部
令和11年度	鹿児島地区・南薩地区	奄美高島部・奄美低島部
令和12年度	大隅地区（曽於を除く）	奄美低島部・甑島
令和13年度	北薩地区・伊佐	甑島・三島

※ 重点地域は、収集場所を限定するものではない。

※ 島嶼部は、旧「自然遺産収集保存事業」の巡回順に基づいて場所を選定した。

エ 資料交換、購入、寄贈等による収集・保管

- ・ 購入
アナグマ（剥製）、オットンガエル（レプリカ）
- ・ 寄贈
屋久島産昆虫標本ドイツ箱65箱（9,331点）

オ 過去2年間の資料収集事業実績

分野	令和6年度	令和7年度
動物	- 野鳥の映像資料収集（霧島市・始良市・いちき串木野市・鹿児島市・南さつま市・南九州市・枕崎市） - 爬虫類資料収集（三島村硫黄島） - 魚類資料収集（薩摩川内市）	- 動物資料の収集（伊佐市・出水市・阿久根市・さつま町・霧島市・始良市・肝付町・南大隅町・鹿児島市・南九州市・南さつま市・甑島・三島村黒島） - 魚類生体の収集（薩摩川内市）
昆虫	昆虫資料の収集（伊佐市・霧島市・鹿児島市・屋久島・十島村中之島・宝島）	昆虫資料の収集（薩摩川内市・三島村黒島及び硫黄島・種子島・奄美大島）
植物	- 海浜性植物の資料収集（喜界島） - 植物と植生環境の映像資料収集（口之島）	植物資料の収集（種子島・奄美大島）
地質	- 地形地質の映像資料収集（三島村黒島） - 地形・地質の映像資料収集（種子島） - 岩石資料の収集（種子島）	- 地形地質の映像資料収集（三島村竹島） - 地形・地質の映像資料収集（種子島） - 岩石資料の収集（種子島） - 新燃岳火山灰の収集
天文	- 紫金山・アトラス彗星の映像資料収集（奄美市） - 星にまつわる伝承文化資料収集（種子島・屋久島・三島村黒島・奄美大島・喜界島）	- 皆既月食の映像資料収集（鹿児島市） - 星にまつわる伝承文化資料収集（さつま町・指宿市・種子島・徳之島）

カ 令和7年度末 展示資料数

（令和8年3月31日現在）

	標本			二次資料		展示資料計
	植物	動物	岩石化石	模型レプリカ	写真	
本館	144	3,456	531	217	753	5,101
別館(化石展示室等)	0	0	740	53	97	890
計	144	3,456	1,271	270	850	5,991

※ 魚、両生・爬虫類等の生体展示 約120点

キ 収蔵資料数

（令和8年3月31日現在）

種子植物	32,832
シダ植物	7,498
コケ植物	6,884
藻類	41
植物計	47,255

哺乳類	263
鳥類	1,045
爬虫類	163
両生類	77
魚類	318
甲殻類	246
貝類	18,850
昆虫類	68,164
海綿・サンゴ	94
その他	28
動物計	89,248

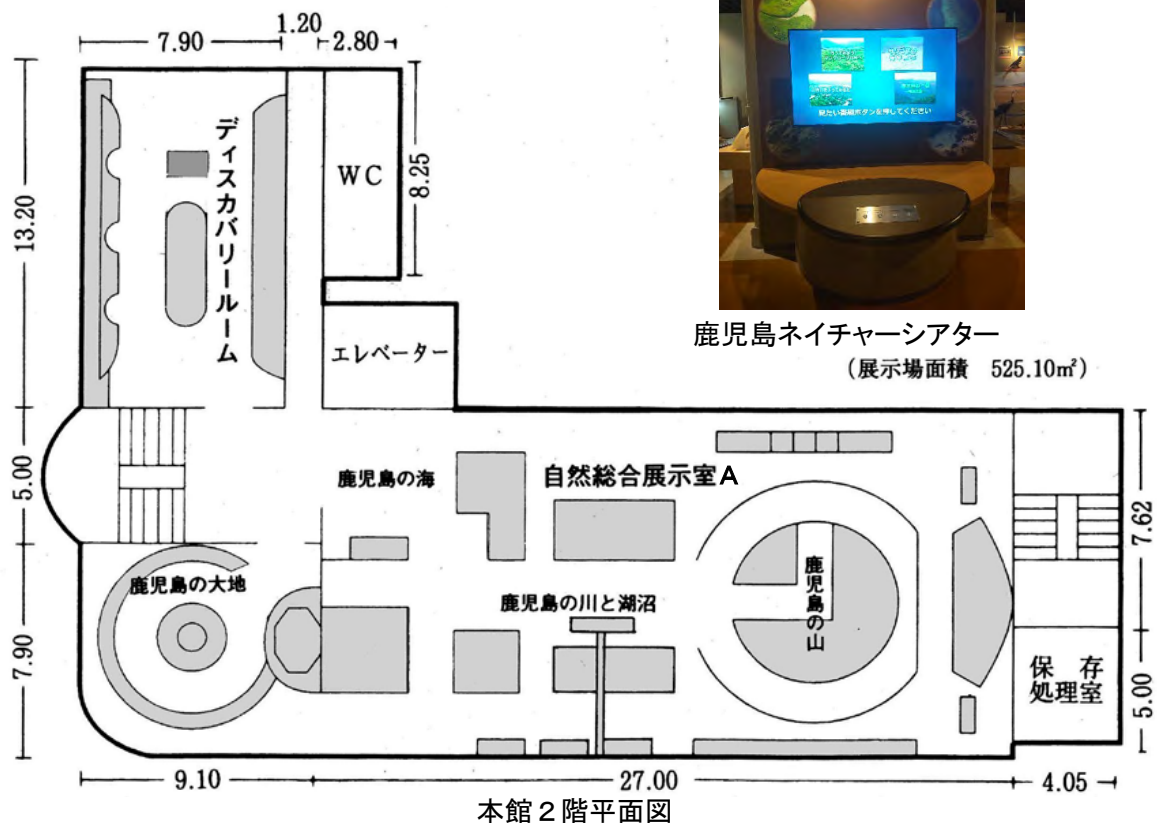
岩石・鉱物	2,034
化石	2,060
テフラ	244
地学計	4,338
一次資料 合計	140,841

図書・文献	20,500
写真	2,488
模型	289
その他	73
二次資料 合計	23,350

総資料数	164,191
------	---------

(2) 展 示

ア 常設展示



(7) 自然総合A (本館2階)「鹿児島島の自然」

〈鹿児島島の海〉

- 黒潮に生きる
 - ・ バショウカジキ、キハダマグロ等の剥製
- 海のオアシスーサンゴ礁ー
 - ・ サンゴ礁ジオラマ
- 黒潮洗う岩礁海岸
 - ・ 潮間帯のジオラマ
- 渚でのドラマ
 - ・ アカウミガメの産卵、砂の拡大観察装置
 - ・ ハマボウフウ、コウボウムギの地下茎
 - ・ 鹿児島の地質と砂浜
 - ・ 砂浜は今
- 鹿児島島の海
 - ・ モダマ、ココヤシ、ルリガイ、海藻
 - ・ 岩礁の貝、砂浜の貝

〈鹿児島島の川と湖沼〉

- マングローブの生きものたち
 - ・ マングローブ林のジオラマ
 - ・ メヒルギ、オヒルギ、リュウキュウアユ等

- 川内川の生態系
 - ・ 川内川の植物、昆虫、鳥類
- 蘭牟田池の生物
 - ・ 蘭牟田池の植生分布、貴重な昆虫、泥炭
- 水辺の環境の変化
 - ・ 絶滅の恐れのある動植物、帰化生物
 - ・ 身近な環境調査
- 人と自然の調和
 - ・ 水田の生きものたち
 - ・ 植物、昆虫、貝、土壌動物、鳥類
- 宇治群島・草垣群島の自然
- 日本最大のツル越冬地「出水」

〈鹿児島島の山〉

- 東洋のガラパゴスー奄美大島ー
 - ・ 原生林ジオラマ
 - ・ オキナワウラジロガシの森
 - ・ アマミノクロウサギ、ルリカケス等天然記念物や希少な野生生物
- 暮らしのそばに世界自然遺産ー徳之島ー
 - ・ トクノシマトゲネズミ、ヤマトサビクワガタ等

- 生きものたちの境界線
 - ートカラ列島ー
 - ・ 琉球列島の成り立ち
 - ・ 鹿児島県の動物分布と渡瀬線
 - ・ アカヒゲ、トカラハブ、昆虫類
- 洋上のアルプス ー屋久島ー
 - ・ 小花之江河のジオラマ、屋久杉
 - ・ ヤクシマザル、ヤクシマウメバチソウ等
- 四季を織りなす活火山ー霧島ー
 - ・ キュウシュウジカ、鳥類、南限のチョウ



暮らしのそばに世界自然遺産
- 徳之島 -
生き物たちの境界線
- トカラ列島 -

〈鹿児島の大地〉

- 動く大地
 - ・ 震源の分布パネル
- 大地の始まり
 - ・ アンモナイト化石等
- 山をつくるマグマ
 - ・ 花こう岩やグリーンタフ等
- 広がるサンゴ海
 - ・ サンゴ石灰岩や星砂
- 沈む大地
 - ・ 地溝の形成史とシナサイ化石
- 巨大カルデラの時代
 - ・ 火砕流堆積物や炭化木
- 桜島火山の歴史
 - ・ 地形模型や溶岩
- 大型映像
 - 「鹿児島県のタイムトラベラー 1 億年の旅 ー」「水無池マール」「知林ヶ島の陸系砂州」「ナポレオン岩」
- スレッド・レース・スコリア
- 偏光顕微鏡による岩石薄片の観察

〈鹿児島ネイチャーシアター〉

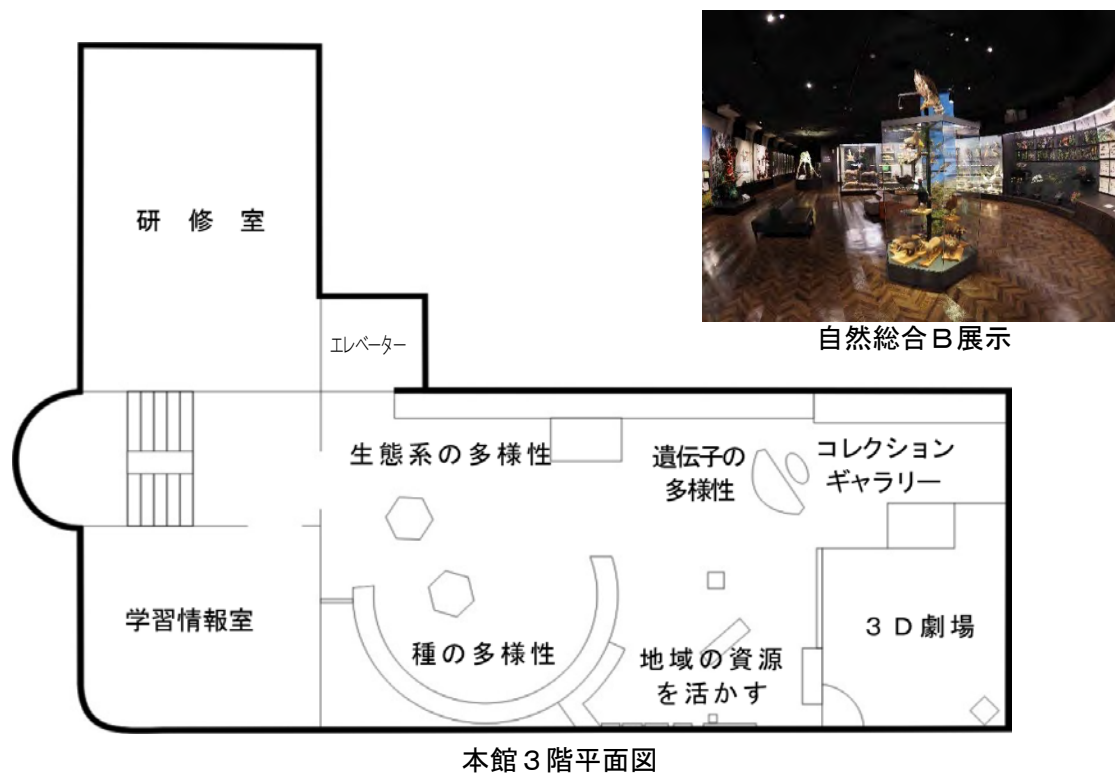
- 映像
 - 「川内川を下ってみると」「原生林の一日」「行ってみようマングローブの林へ」「サンゴ礁の海中散歩」

〈ディスカバリールーム〉体験コーナー

- 石は語る
 - ・ 鹿児島の岩石
 - ・ 示準化石と示相化石
- 虫たちの世界
 - ・ さまざまな昆虫
 - ・ 虫たちの知恵
- たねのふしぎ
 - ・ 種子の広がり方
- 木の香り体験
- まちの自然
 - ・ 身近な虫
- 里山の自然
 - ・ けものたち、鳥たち
 - ・ 木片を削ってかいてみましょう
 - ・ ドングリであそぼう
- 水辺の自然
 - ・ 貝標本
 - ・ 貝あわせ
 - ・ イワシクジラの骨
- のぞいてみようミクロの世界
 - ・ 昆虫の複眼
 - ・ ミジンコ
- 本物にちょっとだけふれよう
カニ、マンボウ、シロクマ、オオヤマネコ、キツネ、タヌキ、オウサマペンギンなど
- 野鳥の鳴き声を聞こう
- 鹿児島の国指定天然記念物
- 奄美の自然（映像）



ディスカバリールーム



(イ) 自然総合B（本館3階）

「鹿児島の人々と自然のつきあい方」

〈メッセージの島〉

- 外来種の脅威
- 頂点捕食者クマタカ

〈生態系の多様性〉

- 鹿児島の生態系の多様性
- 風習と植物の利用
- 植物と暮らしの文化

〈種の多様性〉

- 鹿児島の種の多様性
- わたしを探して
- 鳥の形と機能

〈遺伝子の多様性〉

- ニワトリの多様性

〈地域の資源を活かす〉

- 自然と共生する生活と観光
- 鹿児島の地層
- 鹿児島の化石

〈コレクション・ギャラリー〉

- ウシウマの骨格標本
- キリンの骨格標本

〈3D劇場〉

上映開始時刻 11:00、14:30、15:30（約7分間）

昆虫の立体映像（とび出す映像）を毎日3回上映する。

〈楽しい実験〉

実験開始時刻 11:15、13:45、14:45、15:45

見学者も楽しく参加できる実験を、毎週土曜日、日曜日に4回ずつ実施する。

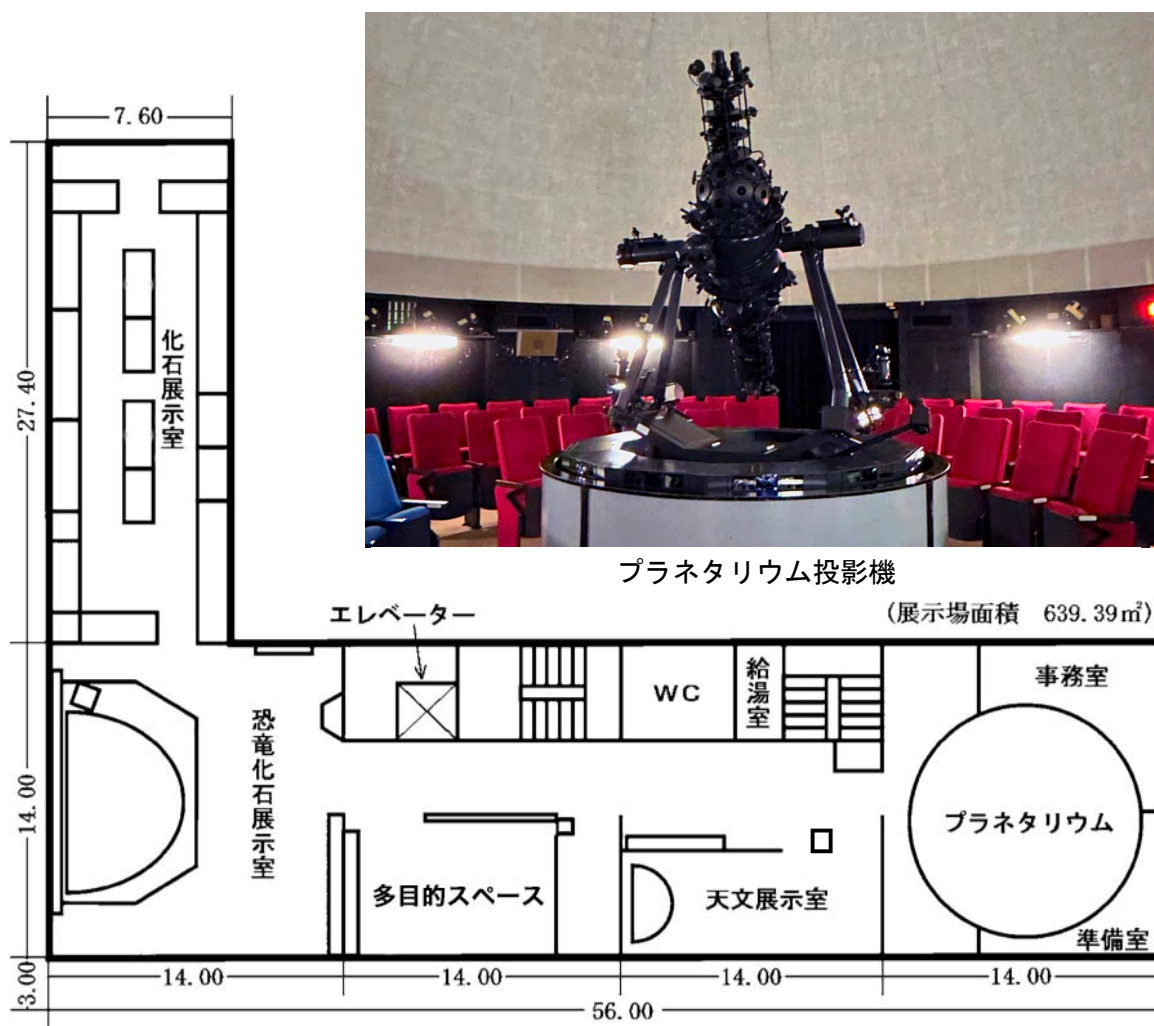


鹿児島の地層、化石



種の多様性

(ウ) プラネタリウム・恐竜化石（別館 宝山ホール4階）



別館（宝山ホール4階）平面図

〈プラネタリウム〉

- 一般投影
 - ・ 四季の星空案内
 - ・ 投影時間（30分）
10：00、12：00、13：30、15：00
- 学習投影「プラネタリウム天文教室」
 - ・ 幼児投影
 - ・ 月と星（小学生用）
 - ・ 地球と太陽系（中学生用）

※ 設備
直径10m、水平ドーム端、座席数85
自動式プラネタリウム（GX-A T型）

〈天文展示室〉

- プラネタリウム解説
 - ・ 初代プラネタリウム投影機
 - ・ 投影機の仕組み
 - ・ 星について
- デジタル四次元地球儀
（ダジック・アース）
- 大型月球儀など

〈恐竜化石展示室〉

- 小川勇吉氏から寄贈された北米ユタ州産の恐竜化石アロサウルスとカンプトサウルスを、八島太郎画伯の背景画とともに展示
- 県内の主な化石産地の化石を展示

〈化石展示室〉

- 小川勇吉氏から寄贈された三葉虫類、ウミユリ、腕足類、アンモナイト、魚類、カメ類、鳥の足跡など430点余りを展示
- 大野透太郎氏から寄贈されたボリビア産化石を展示

〈多目的スペース〉

- 企画展に利用

イ 企画展示等

鹿児島を中心とした自然に関して、博物館のこれまでの収蔵資料や調査研究の成果、児童生徒の自然に関する作品や研究記録等を活用して、時機を得た内容に基づいて展示を行う。

テーマ	開催期間	内 容
かごしまカエル 大全集	3/20（金） ～ 5/31（日）	鹿児島県は、日本に生息するカエルの約半数の種が生息しており、日本一のカエルの楽園といえるでしょう。この企画展では、鹿児島県にすむカエル全種を紹介・解説します。
チャレンジ理科 研究	6/20（土） ～ 8/30（日）	自由研究のやり方やまとめ方、貝や昆虫・植物や岩石の標本を作るポイントは？令和7年度の児童・生徒の優れた理科研究記録や当館で保管している標本を展示して、研究の進め方や標本の作り方を紹介します。
ふしぎ発見！ 葉っぱ64	7/4（土） ～ 8/30（日）	植物の葉をじっくり観察したことはありますか？葉のはたらきや多様な形、紅葉が起こるしくみなど、葉にまつわるさまざまな不思議や魅力を紹介します。
蔵出し「鹿児島 の石」	9/26（土） ～ 11/23（月）	本館が収蔵する鹿児島県内で収集された岩石標本を、多数展示します。また、鉱物・化石標本も一部展示します。
理科に関する 研究記録・課題 研究	10/4（日） ～ 12/20（日）	小中学校については10/4（日）から11/29（日）まで令和7年度「理科に関する研究記録展」に出品された優秀作品を展示します。高等学校及び特別支援学校高等部については10/4（日）から12/20（日）まで課題研究で発表したポスター等を展示します。
ひょっこりエイリ アンⅡ～鹿児島の外 来種最前線～	12/19（土） ～ 2/21（日）	鹿児島にすみついた外来種（エイリアン）は、今もその勢力を拡大中です。外来種による、私たちの生活や自然界への影響について、最新状況をふまえて紹介します。
おじゃり申せ 種子島 の自然～世界自然遺産のとな りで緑輝く島～	3/20（土） ～ 5/30（日）	青い海と白い砂浜に囲まれた種子島。その豊かな自然を、動植物や岩石の標本、剥製等の展示をとおして紹介します。

ウ 移動展示（移動博物館推進事業 ―博物館がやってきた―）

鹿児島および地域の自然や環境について理解を深めるために、展示や自然調査、観察会などの支援を、博物館が地域の施設を会場として行う。地域の自然遺産や環境を地域住民と館員が共に調査する自然体験活動等を行い、その成果や博物館の所蔵する自然資料、児童生徒の理科作品等を展示することにより、地域の人々の郷土の自然に親しむ心を育む。また、市町村教育委員会や学校と連携し、環境教育、理科や総合的な学習・探究の時間等への支援を行う。

(7) 開催地

- 第1回 6月10日（水） 加治木特別支援学校
- 第2回 10月22日（木）～10月25日（日） 南種子町
- 第3回 1月19日（火）～1月24日（日） 志布志市

(イ) 事業内容

- 展示
 - ・ 郷土の自然パネル・実物展示（実施地域関係）
 - ・ 県立博物館の所有する植物、動物、化石・鉱物等の標本、パネル等の展示、「鹿児島と世界の昆虫」「鹿児島の天然記念物」「日本とフィリピンの貝」「化石」等
 - ・ 県内児童生徒の理科優秀作品の展示
- 自然体験
 - ・ 楽しい実験
 - ・ 星空観察会

(3) 調 査 研 究

ア 自然に関する調査・研究

鹿児島県内の自然および収蔵資料について調査・研究し、得られた成果を展示や学校教育等に活用する。また、県内外の研究機関や博物館等へ、本県の自然に関する情報を提供するとともに、自然の大切さを広く県民に啓発する。

○ 事業内容

県内各地で自然に関する調査研究を行う。

〈過去2年間の実績〉

分野	令和6年度	令和7年度
動物	- 鳥類調査（三島硫黄島・奄美大島） - 両生類・爬虫類調査（奄美大島） - カスミサンショウウオ調査（出水市・阿久根市） - ベッコウサンショウウオ調査（伊佐市）	- カエル類分布調査（薩摩半島各所・南種子町） - カスミサンショウウオ調査（出水市・阿久根市） - ベッコウサンショウウオ調査（伊佐市）
昆虫	昆虫相調査（三島村竹島・十島村宝島・中之島・三島村竹島・奄美大島）	水生昆虫および海浜性昆虫の調査（種子島・屋久島・奄美大島）
植物	- 植生調査（十島村口之島） - 三日月池の植生調査（湧水町）	- 植生調査（種子島） - 三日月池の植生調査（湧水町）
地質	地形地質調査（種子島・三島村黒島）	地形地質調査（種子島・三島村竹島）
天文	- 紫金山・アトラス彗星観察（奄美市） - ふたご座流星群観察（鹿児島市） - 星にまつわる伝承文化資料収集（種子島・屋久島・三島村黒島・喜界島・奄美大島）	- ペルセウス座流星群観察（鹿児島市） - 皆既月食観察（鹿児島市） - 星座・天文に関する地域伝承を調査（さつま町・霧島市・指宿市・南種子町・徳之島）

イ 博物館事業推進に係る調査

- 鹿児島県を代表する自然史博物館として、県民へ情報提供し、博物館事業を活性化するために、他の先進博物館の展示内容、展示手法および資料の整理・収蔵方法、博物館運営等について、生きた情報を収集して国内外の博物館事業の動向を探り、博物館事業振興整備に関する調査を行う。
- 博物館等の実態および県内博物館事業に対する期待や学校教育における博物館の活用状況を把握し、展示や教育普及の充実・活性化を図る。

ウ 調査・研究報告書の刊行

鹿児島の自然に対する理解を深める参考資料に資するため、鹿児島県立博物館研究報告を作成し、県内外の博物館や研究機関および県内の教育機関等に配布する。



資料収集（種子島）



資料収集（霧島市）

(4) 教 育 普 及

ア 博物館科学教室

- 実施日の前月 1 日の午前 9 時 30 分から申し込みを開始する。
- 県の電子申請システムを活用し、先着順とする。
- 原則として小学生以下は保護者同伴とし、申し込みは、1 回につき 1 家族に限る。

科学教室のスケジュール

期 日	テ ー マ	定 員	時 間	場 所	費 用
4 月 12 日 (日)	春の植物観察と植物採集	40 人	前	青少年研修センター	50 円
5 月 23 日 (土)	水辺の昆虫をさがそう	20 人	前	西之谷ダム公園	50 円
5 月 31 日 (日)	街かど岩石・化石探検隊！	20 人	前	博物館周辺	50 円
6 月 7 日 (日)	じゃぶじゃぶ池の動物ウォッチング	30 人	前	サホーランドパーク始良	100 円
6 月 14 日 (日)	自由研究テーマの見つけ方	30 人	前	別館 4 階	—
7 月 4 日 (土)	灯火に集まる虫を調べよう	20 人	19-21	鹿児島市寺山	100 円
7 月 5 日 (日)	採集・標本の作り方(岩石)	20 人	前	本館 3 階研修室	100 円
7 月 5 日 (日)	自由研究のデータのまとめ方	30 人	前	別館 4 階	—
7 月 12 日 (日)	採集・標本の作り方(植物)	40 人	全	青少年研修センター	100 円
7 月 19 日 (日)	魚とり名人になろう①	30 人	前	鹿児島市犬迫川	100 円
7 月 20 日 (月)	採集・標本の作り方(昆虫)	40 人	全	青少年研修センター	100 円
7 月 24 日 (金)	セミの羽化を見よう(鹿大連携)	50 人	20-21	鹿大農学部	100 円
8 月 8 日 (土)	夏の星空観察会	20 人	19-21	別館 4 階	100 円
8 月 9 日 (日)	魚とり名人になろう②	30 人	前	未定	100 円
8 月 22 日 (土)	標本名付け教室(昆虫・植物・岩石・貝)	各分野	全	かごしま環境未来館	—
9 月 6 日 (日)	化石レプリカを作ろう	30 人	後	本館 3 階研修室	200 円
9 月 20 日 (日)	秋の植物観察と植物採集	30 人	前	金峰山	100 円
10 月 25 日 (日)	ハチの巣をのぞいてみよう	30 人	後	本館 3 階研修室	—
11 月 8 日 (日)	アサギマダラマキнгと秋の虫さがし	40 人	前	開聞岳山麓	100 円
11 月 15 日 (日)	ミニクリスマスツリーを作ろう	30 人	後	本館 3 階研修室	300 円
11 月 29 日 (日)	木の実でクリスマスリースを作ろう	18 人	後	脇元地区公民館	300 円
12 月 6 日 (日)	博物館バックヤードツアー	10 人	後	博物館本館	—
1 月 17 日 (日)	化石レプリカを作ろう	30 人	後	本館 3 階研修室	200 円
2 月 7 日 (日)	博物館バックヤードツアー	10 人	後	博物館本館	—
2 月 11 日 (木)	動物の眼をかいぼうしてみよう	8 組	前	本館 3 階研修室	300 円
2 月 21 日 (日)	植物のカラフル実験	30 人	後	本館 3 階研修室	100 円
3 月 7 日 (日)	街かど岩石・化石探検隊！	20 人	前	博物館周辺	100 円

※ 前 10:00～12:00
後 14:00～16:00
全 10:00～16:00

イ 博物館天文教室

- 宝山ホール（県文化センター）4階天文展示室において、天文工作を行う。
- 原則第2・4日曜日（10：30～11：00、14：00～14：45）

天文教室の実施日と内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月12日・26日	スペクトルスコープを作ろう	10月11日・25日	日時計を作ろう
5月10日・24日	スペースプレーンを飛ばそう	11月8日・22日	手作り星座缶を作ろう
6月7日・21日	光る星座かざりを作ろう	12月13日・27日	飛べ飛べ!たこ
7月12日・26日	ストローロケットを飛ばそう	1月10日・24日	飛び出す星座カードを作ろう
8月9日・23日	パラシュートでふんわりおろそう	2月14日・28日	静電気クラゲを作ろう
9月13日・27日	星座時計を作ろう	3月14日・28日	光ファイバーで星座を作ろう

ウ 新作を先取り！ 楽しい天文講座

- 年に4回、プラネタリウム館内試写後の土・日・祝日（11時～12時、14時～15時）にプラネタリウム室で実施。
- 幅広い年齢層に向けた、わかりやすく楽しい内容とする。星空観察の楽しみ方、最新の天文現象、天文に関する話題性のある内容、一般的に知られていないが興味深い内容等の紹介を行う。あわせて、プラネタリウム番組の新作星物語の視聴を行い、内容についての解説を行う。

天文講座の実施日と内容

実施日	内 容
6月6日(土)	夏の星空についての生解説及び新作星物語の視聴を行います。また、夏の星空について、星座缶を活用した楽しみ方や望遠鏡を使った楽しみ方、観察する場所の選び方についての講話を行います。
9月5日(土)	秋の星空についての生解説及び新作星物語の視聴を行います。また、月について見え方の違い（時間・方向・欠け具合・色など）の紹介や星座時計の活用の仕方についての講話を行います。
12月5日(土)	冬の星空についての生解説及び新作星物語の視聴を行います。また、冬のダイヤモンドを形作る一等星の探し方や小型双眼鏡の紹介、冬に代表される星雲・星団の紹介などの講話を行います。
3月6日(土)	春の星空についての生解説及び新作星物語の視聴を行います。また、星座の成り立ちや、春に代表される星雲・星団の紹介、星空のスナップショットの撮り方についての講話を行います。

エ 楽しい実験

- 誰もが楽しく参加できる簡単な実験を行う。
- 毎週土・日曜日に1日4回（11：15～、13：45～、14：45～、15：45～）、約15分間

楽しい実験の開催月とテーマ

開催月	テーマ	開催月	テーマ
4 月	飛べ！ユビコプター	10 月	竹笛に挑戦
5 月	迷路に挑戦ダンゴムシ	11 月	ジュズダマでかざりを作ろう
6 月	メダカとミジンコを観察しよう	12 月	スケルトンリーフを作ろう
7 月	机の上で雲を作ろう	1 月	ミカンで電池を作ろう
8 月	楽しいゲンゴロウつり	2 月	星砂を探そう
9 月	スズメバチにさわろう	3 月	シロアリとあそぼう

オ 教員のための博物館講座

自然や地域で子供が自然と触れ合い親しむ活動を支援する教職員を対象とし、実習等で自然観察の知識と技能を高め、観察指導力の向上に寄与することを目的とする。

回	実施日 (予定)	活 動 時間帯	活動場所	内 容 (広報用の内容)	定員
第1回	8月6日 (木)	9:30 ～ 16:40	博物館 本館 別館	身近な素材をとおして観察や実習を行い、生物・天文等の分野から自然を探究する視点や方法を学びます。 ・昆虫を授業に生かす指導法 ・身近な動物の飼育・観察法 ・プラネタリウム及びデジタルコンテンツ等の活用 ★フレッシュ研修（初任校研修）対象講座 【担当学芸主事】昆虫・動物・天文分野	24名
第2回	8月7日 (金)	9:00 ～ 15:00	霧島山	登山道を歩きながら、夏の霧島山の植物や地質を観察します。標高や生育環境による植生の変化や霧島山の成り立ち等について研修します。 ★フレッシュ研修（初任校研修）対象講座 【担当学芸主事】植物・地質・動物分野	30名
第3回	8月18日 (火)	10:00 ～ 15:00	高隈山	鹿屋市鳴之尾牧場から高隈山白滝まで登山道を歩きながら、地質や植物について研修します。 ★フレッシュ研修（初任校研修）対象講座 【担当学芸主事】地質・植物分野	10名
第4回	11月13日 (金)	10:00 ～ 16:30	博物館 本館 城山	博物館周辺の自然を活用した観察や実習を行い、生物・地質分野の自然事象を授業に生かす方法を学びます。 ・理科教材研究のありかた ・博物館周辺のフィールドワーク（昆虫・地質・植物） ・研究討議（身の回りの事象を授業に生かすアイデア） ★鹿児島県総合教育センターの短期研修講座「身の回りの自然を生かす理科講座」として実施されます。 【担当学芸主事】昆虫・植物・地質・（天文）分野 ※（ ）は雨天時のみ実施	15名

カ パワーアップ研修「自然観察講座」（10年経験者研修）

児童・生徒が知的好奇心や探究心をもって自然に親しみ、科学的な見方や考え方を養うことができるようにするために、自然観察の基本的な技術とその指導法を身につけた指導者の育成を図る。

- 期日 自然観察講座A：7月24日(金)、自然観察講座B：7月30日(木)
- 場所 本館及び城山など
- 対象及び募集人員
 - ・ 自然観察講座A：小学校・特別支援学校教職員（20人）
 - ・ 自然観察講座B：中学校・高等学校教職員（20人）
- 講座内容

身近な自然を活用しながら、フィールドワーク等の実習をとおして、理科や総合的な学習の時間等で活用できる植物、動物、地質、天文等の観察調査の方法及び自然観察の指導法を学ぶ。

キ 「集まれ昆虫博士たち！むしっ子クラブ2nd」

昆虫好きの子どもたちが、シーズンを通して一緒に採集や標本づくりを体験することにより、お互いに同じ目的で鹿児島の自然を語ることができるような仲間づくりを目指す。同時に、参加した

子どもたちが将来、郷土の自然に関わる研究や地域の自然保護に携わるきっかけとする。

※ 定員に満たない場合、残りの定員は大人のための野外観察講座として一般成人に開放する。

- 期日 5月23日（土）、6月20日（土）、7月 4日（土）、8月 1日（土）、9月26日（土）、10月17日（土）
- 場所 県内各地
- 対象 県内在住の小学校2年生～中学校3年生、定員5名（＋若干名）

ク 教育支援活動（教育機関、市町村教育委員会、学校等）

学校および社会教育機関等が実施する教育活動において、博物館が持つ機能を活用して、自然科学に関する最新情報の提供や児童・生徒・教職員等への講話・研修を行い、自然に親しみ、自然への興味関心を持たせることを目指す。

- 自然紹介授業・総合的な学習の時間の支援
- 職場体験学習・インターンシップの受け入れ
- 学校・児童クラブ等での出前科学教室の実施
- 公民館や市町村教育委員会が実施する各種講座・星空観察会・標本名付け会等への講師派遣

ケ 博物館学習情報室の活用

生涯学習の場として学習情報室を開設し、自然科学に関する情報を提供する。また、動植物および岩石の名付け、飼育・栽培方法など自然科学に関する諸質問に答えるとともに自然観察・研究の助言等を行う。

コ 標本資料等の貸出し

学校等への標本、写真、教材キット「ディスカバリーBOX」等の貸出しを行う。

サ 広報の推進

「月行事案内」、「鹿博だより」、「夢とロマンの星空散歩」、「鹿児島県自然だより」の発行。

シ ボランティア支援

(7) 学生ボランティアの会

中学生・高校生・大学生が博物館資料の整理や展示、教育普及等の博物館の事業に携わることで、郷土の豊かな自然への理解を深めるとともに、相互に触れ合いながら社会貢献を実践することで、社会の一員としての自覚を深める。

- 活動日
 - ・ 博物館まつり 5月17日（日）
 - ・ 博物館秋まつり 11月 1日（日）
 - ・ 定例会 4月26日（日）、10月18日（日）、2月14日（日）
- 対象 鹿児島県内に在住する中学生、高校生、大学生
- 活動内容
教育普及の補助、博物館まつりや博物館秋まつりの補助や運営、資料の整理・標本作製及びその収蔵に係わる業務等

(イ) 博物館ボランティアの会

ボランティアの会会員が資料整理や教育普及等の博物館事業に携わることにより博物館の機能が最大限に発揮できるよう協力するとともに、自然観察会等を通じて研修を行うなど自然科学への興味関心の高揚を図る。

ス 博物館まつり・博物館秋まつり

博物館が行っている科学教室や楽しい実験などを実施し、自然科学の楽しさを体験することをおして、博物館の事業をより多くの県民に広く知っていただく機会とする。

- 期日 5月17日（日）、11月1日（日）
- 会場 博物館本館、別館など
- 内容 天文教室、楽しい実験、ふれあいコーナー等

7 令和8年度年間行事予定表

日	曜	4月行事	日	曜	5月行事	日	曜	6月行事	日	曜	7月行事
1	水	* 特別整理休館日 新任式 辞令交付式 全職員会議	1	金	*	1	月	休館日	1	水	全国博物館館長会議(～2日予定) 職場体験(緑丘中)～3日
2	木		2	土	楽しい実験	2	火	職場体験学習(三島村大里学園)	2	木	
3	金		3	日	(祝)憲法記念日 楽しい実験	3	水	鹿児島県人権同和基礎講座(始良 市)	3	金	
4	土	楽しい実験	4	月	(祝)みどりの日 [特別]楽しい実験(植物)	4	木		4	土	楽しい実験 科学教室「灯火採集」 企画展「葉っぱ展」開始
5	日	楽しい実験	5	火	(祝)こどもの日 [特別]楽しい実験(動物)	5	金	プラネ夏編試写	5	日	楽しい実験 科学教室「研究データ」 科学教室「標本(岩石)」
6	月	休館日	6	水	振替休日 [特別]楽しい実験(地質)	6	土	楽しい実験 天文講座 田んぼの生きもの(昆虫)	6	月	休館日
7	火		7	木	休館日	7	日	楽しい実験 天文教室 科学教室「じゃぶ池」	7	火	* 職場体験(谷山北中)～8日
8	水		8	金		8	月	休館日	8	水	
9	木	出先機関の長及び教育機関の長会 議	9	土	楽しい実験	9	火	* 移動博設営(午後) プラネ夏編開始	9	木	
10	金		10	日	楽しい実験 天文教室	10	水	移動博物館(加治木特支) 部落解放研究大会[市内](～11日)	10	金	
11	土	楽しい実験	11	月	休館日	11	木	移動博撤去(午前)	11	土	楽しい実験 虫っ子クラブ③
12	日	楽しい実験 天文教室 科学教室「春の植物」	12	火	* 職場体験(谷山・伊敷台・西紫原 中)～14日	12	金		12	日	楽しい実験 天文教室 科学教室「標本(植物)」
13	月	休館日	13	水		13	土	楽しい実験 大人講座第1回(昆虫)	13	月	休館日
14	火	第1回指導主事会議	14	木	九州博物館協議会 理事会及び総会(熊本)	14	日	楽しい実験 科学教室「研究テーマ」	14	火	[県民の日:プラネ無料] いろは中星空観察会
15	水		15	金	九州博物館協議会 理事会及び総会(熊本)	15	月	休館日	15	水	
16	木	指導主事会議(文化財関係)	16	土	楽しい実験	16	火		16	木	いろは中星空観察会(予備日)
17	金	錦江湾高校洋上研修 錦江湾高校博物館見学	17	日	博物館まつり	17	水		17	金	
18	土	楽しい実験	18	月	国際博物館の日 休館日	18	木		18	土	楽しい実験 採集と標本作り(クレイパーク)
19	日	楽しい実験 環境未来館講座(昆)	19	火	職場体験(東谷山)～21日 清水中出前講座(植物)	19	金		19	日	楽しい実験 科学教室「魚とり名人①」
20	月	休館日	20	水	清水中1年博物館見学	20	土	企画展「チャレンジ」開始 虫っ子クラブ②	20	月	(祝)海の日 科学教室「標本(昆 虫)」 甲突川リバーフェスティバル(植)
21	火	* 整理点検日	21	木		21	日	楽しい実験 天文教室	21	火	休館日
22	水	甌ツーリズム推進 協議会総会(次)	22	金		22	月	休館日	22	水	* 特別整理点検日
23	木		23	土	楽しい実験 科学教室「水辺の昆虫」 虫っ子クラブ①	23	火	* 整理点検日 防災訓練(火災) 企画展総見	23	木	天文館図書館朗読会(天)
24	金	鹿児島中央高校SSH講演会	24	日	楽しい実験 天文教室 博物館実習(鹿大水産)	24	水		24	金	パワーアップ研修(小・特) 鹿大連携・科学教室「セミの羽化」
25	土	楽しい実験	25	月	休館日	25	木		25	土	楽しい実験 科学の祭典1日目 東郷公民館講座(植)
26	日	楽しい実験 天文教室 学生ボランティア定例会	26	火	* 整理点検日	26	金		26	日	楽しい実験 天文教室 科学の祭典2日目
27	月	休館日	27	水		27	土	楽しい実験	27	月	休館日
28	火	桜島・錦江湾ジオパーク 推進協議会(長)	28	木		28	日	楽しい実験	28	火	
29	水	(祝)昭和の日 [特別]楽しい実験(昆虫)	29	金	博物館実習(赤塚学園) 県博協理理事会・総会(午後)	29	月	休館日	29	水	中央公民館講座(天文)
30	木		30	土	楽しい実験 博物館実習(鹿大・法 文)	30	火		30	木	パワーアップ研修(中・高)
／			31	日	楽しい実験 企画展「カエル展」、プ ラネ春編終了 科学教室「岩石・化 石」 上野原縄文の森観察会(昆虫)	／			31	金	
楽しい実験(ユビコプター) 天文教室(スペクトルスコープ)			楽しい実験(ダンゴムシ) 天文教室(スペースプレーン)			楽しい実験(ミジンコ) 天文教室(星座のキーホルダー)			楽しい実験(雲) 天文教室(ストローロケット)		

日	曜	8月行事	日	曜	9月行事	日	曜	10月行事	日	曜	11月行事
1	土	楽しい実験 虫っ子クラブ④ 伊敷 公民館講座(動物)	1	火	特別整理休館日(～4日) (職員休養日) 館内燻蒸	1	木		1	日	文化財保護強調週間(～7日) 県民週間(～7日) 博物館秋まつり
2	日	楽しい実験	2	水		2	金		2	月	休館日
3	月	休館日	3	木	全日本同和会九州大会(鹿児島市)	3	土	楽しい実験 理科作品審査会(理協)	3	火	(祝)文化の日
4	火	*	4	金	プラネ秋編試写	4	日	楽しい実験 企画展「自研課研」開始	4	水	
5	水		5	土	楽しい実験 天文講座	5	月	休館日	5	木	
6	木	教員のための博物館講座第1回(本 館・別館) 県人権教育研究大会(～ 7日)	6	日	楽しい実験 科学教室「化石レプリカ」	6	火		6	金	
7	金	教員のための博物館講座第2回(霧 島山)	7	月	休館日	7	水		7	土	楽しい実験
8	土	楽しい実験 科学教室「夏の星空観察会」	8	火	* プラネ点検(～9日)	8	木		8	日	楽しい実験 天文教室 科学教室「アサギマダラ」
9	日	楽しい実験 天文教室 科学教室「魚とり名人②」	9	水		9	金		9	月	休館日
10	月	休館日	10	木	プラネ秋編開始	10	土	楽しい実験 縄文の森講座(天文) かごしま まちなか文化彩 2026 (主)	10	火	*
11	火	(祝)山の日	11	金		11	日	楽しい実験 天文教室	11	水	
12	水		12	土	楽しい実験 さつま町星空観察会(天)	12	月	(祝)スポーツの日	12	木	
13	木		13	日	楽しい実験 天文教室	13	火	休館日	13	金	教員のための博物館講座第4回(本 館, セ短研)
14	金		14	月	休館日	14	水	*	14	土	楽しい実験 阿久根市星空観察会
15	土	楽しい実験	15	火	* 企画展総見	15	木		15	日	楽しい実験 プラネ60周年イベント 科学教室「ツリ」
16	日	楽しい実験	16	水		16	金		16	月	休館日
17	月	休館日	17	木		17	土	楽しい実験 虫っ子クラブ⑥	17	火	
18	火	教員のための博物館講座第3回(高 隈山)	18	金		18	日	楽しい実験 学生ボランティア定例会	18	水	
19	水		19	土	楽しい実験	19	月	休館日	19	木	
20	木	博物館実習(～28日) 九州人権教育夏期講習[福岡](～ 21日)	20	日	楽しい実験 科学教室「秋の植物」	20	火		20	金	
21	金		21	月	(祝)敬老の日	21	水	移動博設営	21	土	楽しい実験
22	土	楽しい実験 科学教室「標本名付け」	22	火	国民の休日	22	木	移動博物館(南種子町)(～25日)	22	日	楽しい実験 天文教室
23	日	楽しい実験 天文教室	23	水	(祝)秋分の日	23	金		23	月	(祝)勤労感謝の日 「鹿児島島の石」展終了
24	月	休館日	24	木	休館日	24	土	楽しい実験	24	火	休館日
25	火	* 整理点検日 (研修)城山社員による接遇指導	25	金	* 整理点検日	25	日	楽しい実験 天文教室 科学教室「ハチの巣」	25	水	* 整理点検日
26	水		26	土	楽しい実験 「鹿児島島の石」展開始 虫っ子クラブ⑤	26	月	休館日 移動博撤収	26	木	
27	木		27	日	楽しい実験 天文教室	27	火	* 整理点検日 職場体験予備日(三島村大里学園)	27	金	
28	金	博物館実習終了	28	月	休館日	28	水		28	土	楽しい実験
29	土	楽しい実験	29	火		29	木		29	日	楽しい実験 科学教室「リース」 プラネ秋編終了
30	日	楽しい実験 企画展「葉っぱ展」企画展 「チャレンジ」終了 プラネ夏編終了	30	水		30	金		30	月	休館日
31	月	* 休館日(職員出勤日)	/			31	土	楽しい実験	/		
楽しい実験(ゲンゴロウ) 天文教室(パラシュート)			楽しい実験(スズメバチ) 天文教室(星座時計)			楽しい実験(竹笛) 天文教室(日時計)			楽しい実験(ジュズダマ) 天文教室(星座缶)		

日	曜	12月行事	日	曜	1月行事	日	曜	2月行事	日	曜	3月行事
1	火		1	金	(祝)元日 年始休館	1	月	休館日	1	月	休館日
2	水		2	土	年始休館	2	火		2	火	
3	木		3	日	年始休館	3	水		3	水	
4	金	プラネ冬編試写	4	月	年始休館(休館日)	4	木		4	木	
5	土	楽しい実験 天文講座 大人講座第2回(地質)	5	火	*	5	金		5	金	プラネ春編試写
6	日	楽しい実験 科学教室「バックヤード」	6	水		6	土	楽しい実験 博友会	6	土	楽しい実験 天文講座
7	月	休館日	7	木		7	日	楽しい実験 科学教室「バックヤード」	7	日	楽しい実験 科学教室「岩石・化石」
8	火	* 特別整理点検日 企画展総見	8	金		8	月	休館日	8	月	休館日
9	水	プラネ冬編開始	9	土	楽しい実験	9	火	*	9	火	* 企画展総見 プラネ点検(～10日)
10	木		10	日	楽しい実験 天文教室	10	水		10	水	
11	金		11	月	(祝)成人の日	11	木	(祝)建国記念の日 科学教室「眼のかいぼう」	11	木	プラネ春編開始
12	土	楽しい実験	12	火	休館日	12	金		12	金	
13	日	楽しい実験 天文教室	13	水		13	土	楽しい実験	13	土	楽しい実験
14	月	休館日	14	木		14	日	楽しい実験 天文教室 学生ボランティア 7定例会 クインパーク講座(動)	14	日	楽しい実験 天文教室
15	火		15	金		15	月	休館日	15	月	休館日
16	水		16	土	楽しい実験	16	火		16	火	
17	木		17	日	楽しい実験 科学教室「化石レプリカ」	17	水		17	水	
18	金		18	月	休館日 移動博準備	18	木		18	木	
19	土	楽しい実験 企画展「外来種」開始 クリスマスキッズ投影	19	火	移動博(志布志市)～24日?	19	金		19	金	
20	日	楽しい実験 クリスマスキッズ投影 企画展「自研課研」終了	20	水		20	土	楽しい実験	20	土	楽しい実験 企画展「種子島」開始
21	月	休館日	21	木		21	日	楽しい実験 企画展「外来種」終了 科学教室「カラフル実験」	21	日	(祝)春分の日 楽しい実験 大人講座第4回(植物)
22	火	*	22	金		22	月	休館日	22	月	振替休日
23	水		23	土	楽しい実験	23	火	(祝)天皇誕生日	23	火	休館日
24	木		24	日	楽しい実験 天文教室	24	水	* 整理点検日	24	水	* 整理点検日
25	金		25	月	休館日 移動博撤収 文化財防火デー	25	木		25	木	
26	土	楽しい実験	26	火	* 整理点検日 防災訓練(火災)	26	金		26	金	
27	日	楽しい実験 天文教室	27	水		27	土	楽しい実験	27	土	楽しい実験
28	月	年末休館(休館日)	28	木		28	日	楽しい実験 天文教室 プラネ冬編終了	28	日	楽しい実験 天文教室
29	火	年末休館	29	金		／			29	月	休館日
30	水	年末休館	30	土	楽しい実験 大人講座第3回(動物)	／			30	火	
31	木	年末休館	31	日	楽しい実験	／			31	水	
楽しい実験(スケルトンリーフ) 天文教室(飛べ飛べ! たこ)			楽しい実験(果物電池) 天文教室(星座カード)			楽しい実験(シロアリ) 天文教室(静電気クラゲ)			楽しい実験(星砂) 天文教室(光ファイバー)		

8 令和7年度主要事業等

月	日	活動内容	定例の教育普及活動	
			活動名	実施日
4	27	プラネタリウム番組春編投影（6/8まで） 企画展「ジオパークに行こう！」（6/1まで） 学生ボランティア定例会	科学教室 天文教室 楽しい実験	6, 13 13, 27 5, 6, 12, 13, 19, 20, 26, 27
5	11 18	第1回教職員のための野外観察講座 博物館まつり	天文教室 楽しい実験	11, 25 3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25, 31
6	2 17 21	移動博物館（鹿児島南特別支援学校、6/5まで） プラネタリウム番組夏編投影（9/7まで） 第2回教職員のための野外観察講座 企画展「チャレンジ理科研究」（8/31まで）	科学教室 天文教室 楽しい実験 天文講座	1, 15 8, 22 1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 28, 29 14
7	5 24 29 30	企画展「ゴキの真実」（9/7まで） パワーアップ研修A（博物館・城山） 第3回教職員のための野外観察講座 パワーアップ研修B（博物館・城山）	科学教室 天文教室 楽しい実験	5, 6, 13, 18, 19, 21, 25, 26 13, 27 5, 6, 13, 14, 20, 21, 26, 27
8	7 8 22	博物館教養講座 第4回教職員のための野外観察講座（中止） 第5回教職員のための野外観察講座（中止）	科学教室 天文教室 楽しい実験	23 10, 24 2, 3, 9, 10, 16, 17, 23, 24, 30, 31
9	2 4 15 27 28	館内燻蒸 博物館実習（9/12まで） プラネタリウム番組秋編投影（11/30まで） 企画展「かご博蔵出し展」（11/24まで） 企画展「理科に関する研究記録・課題研究」（12/21まで）	科学教室 天文教室 楽しい実験 天文講座	6, 21 14, 28 6, 7, 13, 14, 20, 27, 28 13
10	11 15	第6回教職員のための野外観察講座 移動博物館（屋久島：10/19まで）	科学教室 天文教室 楽しい実験	5, 26 12, 26 4, 5, 11, 12, 18, 19, 25, 26
11	2 14 15	博物館秋まつり 身の回りの自然を授業に生かす理科講座 第7回教職員のための野外観察講座	科学教室 天文教室 楽しい実験	9, 16, 30 9, 23 1, 8, 9, 15, 16, 22, 23, 29, 30
12	6 10 20	第8回教職員のための野外観察講座、天文講座 プラネタリウム番組冬編投影（3/8まで） 企画展「かごしましましましまさがし」（2/23まで） クリスマスキッズ投影（12/21まで）	天文教室 楽しい実験 天文講座	14, 28 6, 7, 13, 14, 20, 21, 27, 28 6
1	24	第9回教職員のための野外観察講座	科学教室 天文教室 楽しい実験	11, 18 11, 25 10, 11, 17, 18, 24, 25, 31
2	15	学生ボランティア定例会	科学教室 天文教室 楽しい実験	8, 11 8, 22 1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 28
3	18 20 31	プラネタリウム春編投影（5/31まで） 企画展「かごしまカエル大全集」（5/31まで） 研究報告第45号発行 鹿博だより107号発行	科学教室 天文教室 楽しい実験 天文講座	8, 15 8, 22 1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 28, 29 14

(1) 資料の収集・保管

- ア 収集地 種子島、屋久島、奄美大島、徳之島、県本土 など
 イ 登録資料数 54点 (植物 42点, 昆虫 0点, 動物 1点, 地学 11点)

(2) 展 示

ア 企画展 (62,425人)

テーマ	開催期間	内容	観覧者数
ジオパークに行こう！	3/22 (土)～6/1 (日)	鹿児島県には、地球の営みを実感できる地形や地質がたくさんあり、3地域が日本ジオパークに認定されています。ジオパークをはじめ、県内各地のおすすめジオスポットとその見どころを解説します。	12,563人
チャレンジ理科研究	6/21 (土)～8/31 (日)	令和6年度の児童生徒の優れた理科研究記録や当館で保管している標本を展示して、研究の進め方や標本の作り方を紹介します。	4,416人
ゴキの真実	7/5 (土)～9/7 (日)	外見のみならず、その名も人々から受け入れられない身近な昆虫、ゴキブリ。そのディープな世界を、分かりやすく紹介します。	18,373人
かご博蔵出し展	9/27 (土)～11/24 (月)	本館に収蔵されている約16万点の収蔵品の中から、各分野の学芸主事が独自の視点で選んだよりすぐりの“もの”を、その魅力と背景とともに紹介します。	11,819人
理科に関する研究記録・課題研究	9/28 (日)～12/21 (日)	小中学校については、11/30 (日)まで、令和7年度「理科に関する研究記録展」に出品された優秀作品を展示します。高等学校については、12/21 (日)まで、SSH指定校が作成したポスターを展示します。	4,424人
かごしましましましまさがし	12/20 (土)～2/23 (日)	鹿児島にはいろいろな“しま”があります。県内あちこちの地層にみられる縞模様の成り立ちや名前に“しま”が付く生物など、“しま”をキーワードに鹿児島の自然を見つめます。	7,889人
かごしまカエル大全集	3/20 (金)～5/31 (日)	鹿児島県は、日本に生息するカエルの約半数の種が生息しており、日本一のカエルの楽園といえるでしょう。この企画展では、鹿児島県にすむカエル全種を紹介・解説します。	2,941人 ※～3/31まで

イ 移動博物館推進事業「博物館がやってきた」 参加者合計 9,880人 第1回：鹿児島南特別支援学校（6/2～5）2,008人 第2回：屋久島町（10/15～19）7,872人

展 示 内 容： 鹿児島と世界の昆虫、鹿児島の天然記念物、児童・生徒の理科作品、
 さわってみよう(化石)、郷土の自然
 楽しい実験： 「とほうもなく冷たい世界」、「竹笛」などの工作や体験活動
 野 外 活 動： 自然観察会、星空観察会(第2回のみ)
 郷土の自然紹介： 植物、地質、動物、昆虫、天文の5分野

(3) 調査研究

ア 県立博物館研究報告第45号（12編）

- ・ 喜界島阿伝、上嘉鉄の隆起珊瑚礁上植物群落について
- ・ 鹿児島県薩摩川内市西部の久見崎地域に分布する久見崎層の層序と礫岩分析
- ・ 悪石島の鳥類リスト
- ・ 2025年に種子島で採集した水生昆虫
- ・ 2025年9月、黒島片泊の昆虫
- ・ 2025年7月に奄美大島で採集した水生昆虫
- ・ 種子島におけるトガリアメンボの初記録
- ・ 種子島におけるヤマトマダラバッタの分布
- ・ ヒメアメンボのトカラ列島中之島における記録の訂正と分布南限について
- ・ プラネタリウムにおけるオリジナル番組制作についての報告
- ・ 中種子町立野間小学校の校庭の植物相
- ・ ジュニア学芸員養成講座事業についての報告

イ 博物館整備振興に関わる先進博物館視察

- ・ 宗像ユリックス ・ 北九州市立いのちのたび博物館 ・ スペースLABO

(4) 教育普及

ア 博物館科学教室(原則毎月第1・3日曜日)年間29回実施

(808人)

期日	テーマ	定員	場所	参加者数
4月6日(日)	春の植物観察と植物採集	40人	青少年研修センター	26人
4月13日(日)	城山で春の虫を探そう	30人	鹿児島市城山	34人
6月1日(日)	街かど岩石・化石探検隊!	20人	博物館周辺	16人
6月8日(日)	じゃぶじゃぶ池の動物ウォッチング	30人	鹿児島市城山	中止
6月15日(日)	自由研究テーマの見つけ方	30人	別館4階	21人
7月5日(土)	灯火に集まる虫を調べよう	30人	鹿児島市寺山	36人
7月6日(日)	採集・標本の作り方(岩石)	20人	本館3階研修室	19人
7月6日(日)	自由研究のデータのまとめ方	30人	別館4階	17人
7月13日(日)	採集・標本の作り方(植物)	40人	青少年研修センター	23人
7月18日(金)	セミの羽化をみよう	40人	博物館周辺	29人
7月19日(土)	セミの羽化をみよう	40人	博物館周辺	36人
7月21日(月)	採集・標本の作り方(昆虫)	40人	青少年研修センター	38人
7月21日(月)	魚とり名人になろう	30人	鹿児島市犬迫川	33人
7月25日(金)	セミの羽化をみよう(鹿大連携)	50人	鹿大農学部	44人
7月26日(土)	セミの羽化をみよう	40人	博物館周辺	31人
8月23日(土)	標本名付け教室(昆虫・植物・岩石・貝)	〃	本館3階研修室	184人
9月7日(月)	化石レプリカを作ろう	30人	本館3階研修室	29人
9月21日(日)	秋の植物観察と植物採集	30人	金峰山	23人
10月5日(日)	博物館バックヤードツアー	10人	博物館本館	11人
10月26日(日)	ハチの巣をのぞいてみよう	30人	本館3階研修室	27人
11月9日(日)	アサギマダラのマーキングと秋の虫さがし	40人	開聞岳山麓	中止
11月16日(日)	ミニクリスマスツリーを作ろう	30人	本館3階研修室	21人
11月30日(日)	クリスマスリースを作ろう	30人	本館3階研修室	26人
1月11日(日)	博物館バックヤードツアー	10人	博物館本館	10人
1月18日(日)	化石レプリカを作ろう	30人	本館3階研修室	11人
2月8日(日)	植物のカラフル実験	30人	本館3階研修室	18人
2月11日(水)	動物の眼のかいぼうをしてみよう	24人	本館3階学習情報室	11人
3月8日(日)	街かど岩石・化石探検隊!	20人	博物館周辺	17人
3月15日(日)	城山で春の植物を探そう	30人	鹿児島市城山	17人

※ 中止は天候不良のため

イ 天文教室（第2・4日曜日、1日2回） 年間27回実施 (823人)

期 日	内 容	参加者数
4月13日、27日	スペクトルスコープを作ろう	41人
5月11日、18日、25日	スペースプレーンを飛ばそう	206人
6月8日、22日	光る星座かざりを作ろう	47人
7月13日、27日	ストローロケットを飛ばそう	67人
8月10日、24日	パラシュートでふんわり降ろそう	50人
9月13日、14日、28日	星座時計を作ろう	73人
10月12日、26日	日時計を作ろう	31人
11月2日、9日、23日	手作り星座缶を作ろう	154人
12月14日、28日	飛べ飛べ!たこ	42人
1月11日、25日	飛び出す星座カードを作ろう	39人
2月8日、22日	静電気クラゲを作ろう	25人
3月8日、22日	光ファイバーで星座を作ろう	48人

ウ 新作を先取り!天文講座（番組組み替え期間中、年4回）

- 6月14日(土)、9月13日(土)、12月6日(土)、3月14日(土) 実施（参加者計 31人）
- 新作星物語の視聴及び天文に関する幅広い年齢層に向けた講座

エ 楽しい実験（毎月土・日曜日、1日4回） 年間103日 実施 (5,329人)

月	テーマ	実験の内容	参加者数
4	飛べ!ユビコプター	ペットボトルなどの身近なプラスチック材料を使って、よく飛ぶユビコプターを作って飛ばします。	343人
5	シロアリと遊ぼう	ボールペンで書いた線の上をシロアリが上手に歩きます。どうして迷わずに歩けるのか遊びながら考えます。	491人
6	迷路に挑戦ダンゴムシ	ダンゴムシが迷路に挑戦します。遊びながらダンゴムシの不思議な行動について考えます。	635人
7	机の上で雲を作ろう	空に浮かんでいる雲と同じものをペットボトルの中につくってみよう。雲のできるしくみを学ぶことができます。	607人
8	ゲンゴロウのひみつ	コガタノゲンゴロウのからだのつくりを調べてみよう。コガタノゲンゴロウの好物を使って、釣りに挑戦してみよう。	796人
9	スズメバチをさわろう	野山で出会うと怖いスズメバチ。実験室の中で標本をさわってみませんか?羽のつくりや体に生えた毛など、新発見があります。	418人
10	竹笛に挑戦	メダケを利用して、竹笛作りに挑戦します。太さや長さによって音がどう変わるか考えます。	303人
11	ジュズダマでかざりを作ろう	川や田んぼの端に生えるジュズダマを使ってアクセサリーなどのかざりを作ります。	288人
12	まわれ、独楽・こま・コマ	ペットボトルを使って作るキャップゴマとボトムゴマ。回ると色が変わって見える不思議なコマを作ります。	298人
1	果物で電池を作ろう	くだもので電気を起こすことができます。くだもので電池をつくって、オルゴールを鳴らしてみよう。	298人
2	スライムを作ろう	ホウ砂と洗濯のりを使ってスライムを作ります。ふしぎな手触りを感じてみよう。	477人
3	星砂を探そう	与論島の百合ヶ浜の浜砂から星や太陽のような形をした「星砂」を探し出して、星砂の正体を調べます。	375人

オ 博物館教養講座（初任者課題研修）「楽しい自然観察入門」（博物館本館、博物館別館）

- 8月7日(木)実施（参加者計 20人、うち1年目課題研修対象者14人）
- 自然観察の仕方、地域の自然を生かした指導方法の研修など

カ パワーアップ研修（自然観察実践講座：城山、博物館本館、博物館別館）

- 7月24日(木)・7月30日(水)実施（参加者計13人）
- 県総合教育センター主催のパワーアップ研修会に本講座を開設
- 10年経験者の希望選択により参加
- 自然観察のしかた、地域の自然を生かした指導方法の研修など

キ 教職員のための野外観察講座（初任者課題研修対象3回を含む）

- 全9回（参加者計 35人）
- 計画的・継続的な調査研究およびその教材
- 各分野における専門的かつ授業に生かせる知識や技能の習得
- 博物館と学校および地域のネットワーク作り

ク 大人のための野外観察講座（キの教職員のための野外観察講座が定員に満たない場合に開催）

- 全6回（参加者計 26人）
- 県内各地での観察や調査等を実施
- 観察指導者としての技量と資質の向上

ク 資料等の貸し出し

- 各種標本、桜島大正大噴火記録写真、児童・生徒の研究記録、標本作品、自然科学教材キットなど



野外観察講座



楽しい実験

ケ 統計資料

(7) 令和7年度 教育支援活動

(件数：168件、人数：12,239人)

講座の種類	件 数	人 数	備 考
未就学依頼	0件	0人	
小学校依頼	11件	495人	出前授業、出張展示、展示解説 など
中学校依頼	28件	894人	職場見学、職業講話、出前授業 など
高 校 依 頼	16件	4,337人	職場体験、展示解説、標本作製教室 など
大 学 依 頼	6件	105人	博物館見学実習
教 員 対 象	20件	97人	野外観察講座、パワーアップ研修 など
行 政 依 頼	25件	5,033人	講師派遣、イベント支援 など
一般NPO	10件	402人	天体観察会
博物館事業	52件	876人	ミュージアムトーク、博物館実習、研修会 など

(12,239人)

教育支援	幼 児	小学生	中学生	高校生	一 般
	863人	2,779人	1,142人	3,821人	3,634人

(中学生：15人、高校生：152人、一般：45人、総計212人)

ボランティア支援	中学生	高校生	一 般	合 計
学生ボランティア	15人	152人	15人	182人
一般ボランティア			30人	30人
ボランティア合計	15人	152人	45人	212人

(イ) 令和7年度 レファレンス集計

(幼：1人、小：26人、中：5人、高：1人、一般：205人、総計：238人)

月	質問者数					合 計
	幼 児	小学生	中学生	高校生	一 般	
4月		3人			35人	38人
5月		3人			22人	25人
6月		6人			20人	26人
7月		3人	2人		32人	37人
8月		4人	3人		27人	34人
9月	1人	2人			11人	14人
10月				1人	19人	20人
11月		1人			5人	6人
12月					11人	11人
1月					2人	2人
2月		2人			11人	13人
3月		2人			10人	12人

(5) 博物館利用状況

ア 各館（室）別利用者数

(137, 103人)

月	本 館	プラネタリウム	恐竜・化石	移動博	教育普及	7 年度	6 年度	5 年度
4 月	3, 784人	539人	975人		733人	6, 031人	7, 664人	6, 049人
5 月	7, 011人	1, 161人	2, 269人		3, 706人	14, 147人	14, 264人	13, 571人
6 月	4, 003人	695人	1, 665人	2, 008人	1, 399人	9, 770人	8, 588人	8, 184人
7 月	6, 975人	810人	1, 575人		5, 694人	15, 054人	12, 669人	13, 094人
8 月	10, 532人	1, 318人	2, 203人		968人	15, 021人	13, 065人	15, 300人
9 月	4, 636人	755人	1, 284人		12, 656人	19, 331人	7, 286人	8, 952人
10月	4, 845人	1, 094人	1, 612人	7, 872人	1, 215人	16, 638人	14, 268人	10, 622人
11月	7, 790人	1, 238人	2, 103人		3, 168人	14, 299人	12, 299人	13, 441人
12月	3, 780人	420人	990人		823人	6, 013人	8, 659人	7, 749人
1 月	3, 224人	393人	851人		1, 180人	5, 648人	8, 208人	6, 504人
2 月	3, 815人	498人	1, 012人		2, 307人	7, 632人	7, 249人	7, 835人
3 月	4, 997人	548人	1, 178人		796人	7, 519人	6, 672人	11, 398人
合計	65, 392人	9, 469人	17, 717人	9, 880人	34, 645人	137, 103人	120, 891人	122, 699人

イ 年代別利用者数

(137, 103人)

月	未就学児	小学生	中学生	高校生	一 般	合 計
4 月	611人	1, 243人	186人	400人	3, 591人	6, 031人
5 月	2, 042人	4, 613人	1, 048人	283人	6, 161人	14, 147人
6 月	1, 395人	3, 032人	1, 009人	379人	3, 955人	9, 770人
7 月	1, 679人	4, 089人	657人	1, 273人	7, 356人	15, 054人
8 月	1, 778人	3, 528人	877人	437人	8, 401人	15, 021人
9 月	1, 343人	2, 105人	254人	738人	14, 891人	19, 331人
10月	1, 701人	6, 163人	1, 579人	671人	6, 524人	16, 638人
11月	1, 235人	6, 587人	238人	1, 305人	4, 934人	14, 299人
12月	847人	1, 548人	102人	254人	3, 262人	6, 013人
1 月	710人	921人	100人	646人	3, 271人	5, 648人
2 月	1, 025人	1, 062人	319人	1, 353人	3, 873人	7, 632人
3 月	1, 252人	1, 287人	249人	282人	4, 449人	7, 519人
合計	15, 618人	36, 178人	6, 618人	8, 021人	70, 668人	137, 103人

ウ 館利用者の内訳

(137, 103人)

	個 人	団 体	県 内	県 外	計
実 数	91, 071人	46, 032人	109, 107人	27, 996人	137, 103人
割 合	66%	34%	80%	20%	

9 博物館利用の案内

(1) 入館の手順

ア 開館時間

9：00～17：00（入館は16：30まで）

イ 休館日

- 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）
- 整理点検日等
4/1（水）、4/21（火）、5/26（火）、6/23（火）、7/22（水）、8/25（火）、
9/1（火）～4（金）、9/25（金）、10/27（火）、11/25（水）、12/8（火）、1/26（火）、
2/24（水）、3/24（水）
- 年末年始 12/28（月）～1/4（月）

ウ プラネタリウム

小学生以上は有料です。入場券を購入してお入りください。団体料金は30人以上の場合です。

(7) 観覧料の減額について

教育課程に基づく学習活動として利用する県内の小・中学校の児童・生徒と引率者は使用料減免申請書を提出することにより、団体料金となります。

区 分	観覧料	
小・中学生	個 人	130円
	団 体	100円
高校生以上	個 人	230円
	団 体	190円

(イ) 観覧料の免除について

次の方は観覧料が免除されます。

- ・ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の提示があった方と、その介護者1名
- ・ 令和8年4月1日～令和9年3月31日の期間、県内に居住する70歳以上の方で、年齢・住所を確認できる書類の提示があった場合
- ・ 令和8年4月1日～令和9年3月31日の期間の土、日、祝日に限り、県内に居住する18歳以下の小・中・高校生等で年齢・住所を確認できる場合

(2) 見学に要する時間と収容人員

展示室等	展示内容等	見学所要時間	収容人数
本 館	自然総合A（鹿児島島の自然、ディスカバリールーム） 自然総合B（鹿児島の人々と自然のつきあい方）	40分～50分	300人
恐竜化石展示室	恐竜化石、県内産・南米産・北米産化石	20分	50人
プラネタリウム	一般投影、学習投影	30分	85人

(3) 団体見学の申込

学年・学級単位で博物館を利用する場合は、事前に電話等で博物館に申し込んでください。博物館見学の目的に応じて、資料等の提供や見学当日の案内等の相談に応じます。

ア 展示物の見学申込

学校名（又は団体名）・学年・人数・見学時間・解説の必要性等を電話か文書で博物館本館に連絡してください。代表者が事前に来館していただき相談されても結構です。

（電話：099-223-6050、FAX：099-223-6080）

イ プラネタリウム

学校名（又は団体名）・学年・人数・希望する投影時刻・投影の内容等を電話か文書で博物館プラネタリウムまで連絡してください。代表者が事前に来館（プラネタリウム）していただき相談されても結構です。（電話：プラネタリウム事務室 099-210-7353）

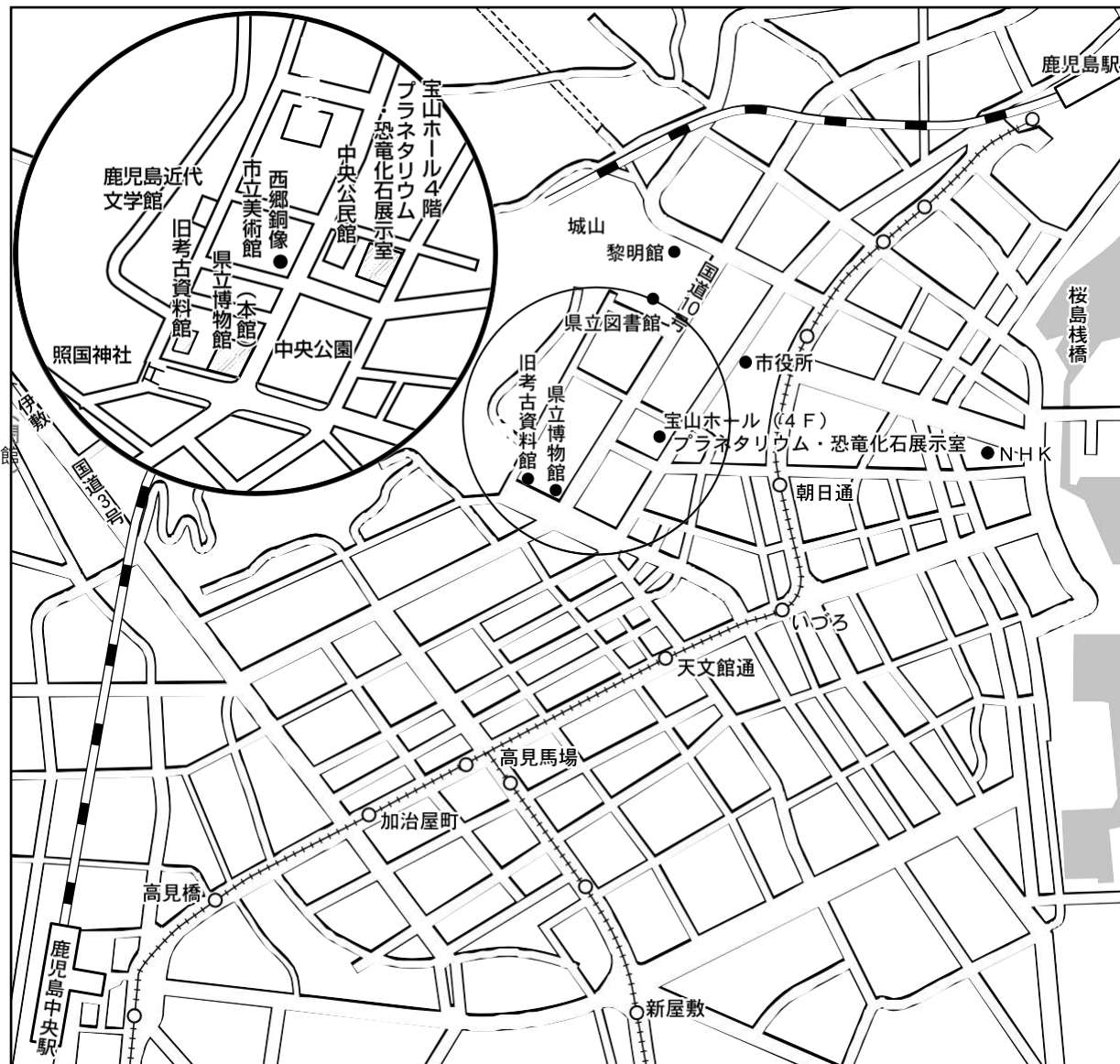
なお、投影開始時刻・投影内容は次のとおりです。

- 投影開始時刻：10：00、12：00、13：30、15：00
- 投 影 内 容：一般投影（四季の星空）

(4) 博物館の場所と交通手段

鹿児島市の繁華街天文館から徒歩7分、城山の下にある照国神社の鳥居前通りと国道10号線との交差点の北側に本館があります。また、恐竜化石展示室やプラネタリウムは、本館の北東へ徒歩5分の位置にある宝山ホール（県文化センター）4階にあります。

- 鹿児島空港からリムジンバスを利用する場合は、金生町又は天文館で下車してください。
- 鹿児島中央駅からバス（電車）を利用する場合は、天文館（天文館通）で下車してください。
- 身障者用駐車場は2台分あります。



鹿児島県立博物館周辺地図

(5) その他

- 館内での写真撮影を希望される方は、係員にお申し出ください。
- 車イス利用の方は、博物館西側からお入りください。入り口のブザーを押していただければ係員が案内いたします。なお、当館備え付けの車イスもありますので、お気軽に御利用ください。
- 身障者用のトイレ、エレベーターもあります。
- その他の御不明な点は、係員へお申し出ください。

令和8年度 要 覧

編集・発行 鹿児島県立博物館
〒892-0853 鹿児島市城山町1番1号
TEL 099-223-6050
FAX 099-223-6080
<https://www.pref.kagoshima.jp/hakubutsukan/>
E-mail: kahaku1@pref.kagoshima.lg.jp

